HITACHI

日立BS・110度CSデジタルハイビジョンプラズマテレビ

取扱説明書(別冊)

# インターネット機能の楽しみかた

形名(セット形名)：*W32-PDW3000* タイプ　*W37-PDW3000* タイプ　*W42-PDW3000* タイプ

# ー はじめに ー

このたびは、本機をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

この「取扱説明書」は本機をお使いインターネット機能をお楽しみになる方のための設定方法や基本的な取扱い方法、操作手順、注意事項等を説明したものです。必ずひととおりお読みください。

またこの「取扱説明書」には、お客さまや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本機を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項や、より快適にお使いいただくためのアドバイス事項等を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

**絵表示について**　製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害を発生する可能性があります。

**絵表示の意味**

 気をつけなければならない。「注意」を示します。

 感電に気をつけなければならない。「感電注意」を示します。

 してはいけない。「禁止」を示します。

 必ず行う。「強制」を示します。

## ●国外での使用について

⚠ **注意**

本機（ソフトウエアも含む）は日本国内仕様であり外国の規格等には準拠しておりません。本機を日本国外で使用された場合、当社はいっさい責任を負いません。

## ●ご注意

(１)本書の内容の一部または全部を無断転載、無断複写することは禁止されています。
(２)本書の内容につきましては、将来予告なしに変更することがあります。
(３)本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、サービス窓口までお申しつけください。
(４)本機の使用により、通信等の機会を逸したために生じた損害等の補償につきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
(５)本書中に掲載されている画面等の図は、実際のものと若干ことなることがありますので、あらかじめご了承ください。

# ー 本書の構成 ー

# ー目　次ー

# ● 1.1 特徴 ●

**世界中のコンピュータ・ネットワークを結ぶインターネットでは、24時間いつでも世界の生きた情報を手にすることができます。本機は、そのインターネットのいちばん簡単な接続機器としてご利用いただけます。コンピュータが苦手な方でもお使いいただけます。**

## ●簡単接続
AVCステーションと専用回線（イーサネット）につなぐだけで接続完了です。

## ●簡単リモコン操作
パソコンのキーボード操作が苦手な人でも、画面上の文字をインターネット用リモコンで選ぶことにより入力できます。ゲーム感覚でどなたでもお使いいただけます。

## ●独自ブラウザソフト搭載
独自に開発した使いやすいブラウザを搭載しています。機能はHTML4.0*を準拠し、JavaScript1.5**にも対応しています。さらに、インターネットナンバーサービスにも対応していますので数字だけの入力で、登録されたホームページにアクセスできます。
また、SSL3.0に対応していますので、クレジットカード番号などの個人データは暗号化され***、安全にオンラインショッピングが行えます。
なお、暗号方式は世界標準とされているRSAを採用しています。

* Javaや一部を除いたプラグイン機能には対応しておりません。
** 一部の機能はサポートしておりません。
*** 暗号化されるのはサーバが対応している時のみです。

## ●電子メール機能
インターネットを利用した電子メールの送受信が行えます。画像・音声データにも対応しています。

## ●メールチェック機能
TV画面を見ているときでも、新しいメッセージが届いたことがわかります。（26または31の設定が必要です。）

## ●文字サイズ変換機能
ブラウザ画面やメール画面に表示される文字の大きさを変更できます。

## ●画面ズームアップ機能
カーソルで指定した部分を拡大表示できます。

## ●プリンタ接続
プリンタ（対応機器：74）を接続すれば、お気に入りのホームページや大切な電子メールを印刷できます。

## ●マイク接続
コンデンサマイク（市販品:ミニプラグ）を接続すれば、音声を録音して電子メールで送信することができます。

## ●デジタルカメラ接続
デジタルカメラ（対応機器：74）を接続すれば、撮影した画像を電子メールで送信することができます。

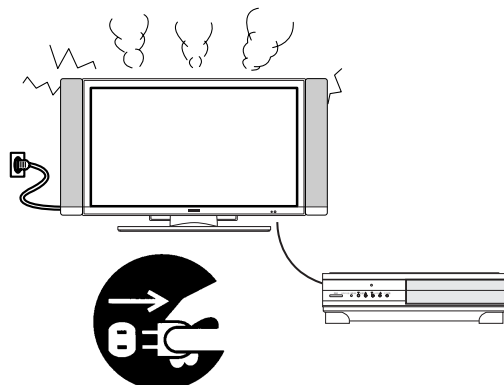
# ● 1.2 使用上のご注意 ●



本機をご使用になる上で、守っていただきたいこと、注意していただきたいことが説明してあります。必ずひととおりお読み下さい。

## 安全上のご注意

### ⚠警告

#### ■異常が発生したら、すぐに電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜くこと

異常、故障状態とは
- ●煙が出ている、へんな臭いや音がする
- ●画が乱れる・映らない、音がでない
- ●本機の内部に異物(水、金属など)が入った

など

異常、故障状態のまま使用すると火災、感電の原因となります。

すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

●イラストはイメージであり、実際の商品とは形状が異なる場合があります。

## 設置をするとき

### ⚠警告

#### ■ 不安定な場所に置かない

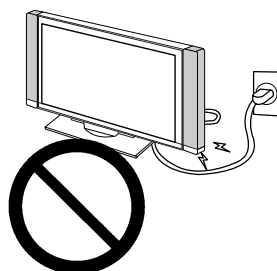
ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かない。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。

#### ■持ち運ぶときは衝撃を与えない、本機を落とさない

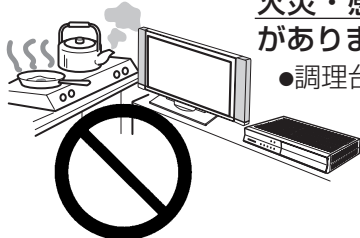
破損したまま使用すると、火災・感電・けがの原因となります。

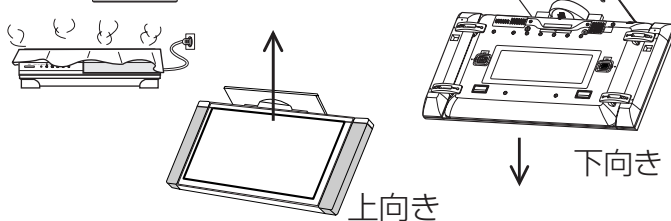
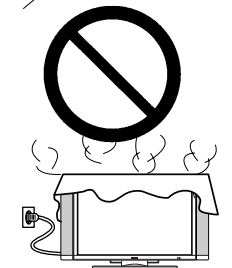
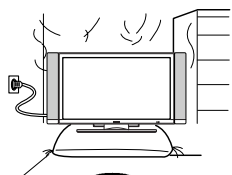
●プラズマディスプレイパネルはガラスでできていますので、万一割れたりするとケガの原因となります。

#### ■ 電源コードを本機の下敷にしない

コードに傷がついて火災・感電の原因となります。

# ⚠注意

## ■湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気が当たる場所に置かない

火災・感電の原因となることがあります。
●調理台や加湿器のそばなど。

## ■通風孔をふさがない

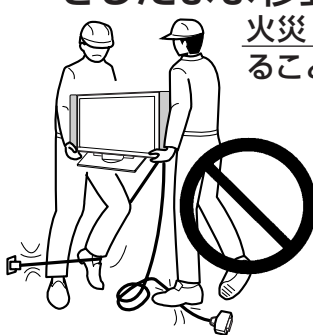
火災の原因となることがあります。
通風孔を壁から10cm以上離して据えつけてください。（モニターを壁掛け設置する場合は除く）
特につぎのような使い方はしないでください。
●本機をあお向けや横倒し、逆さまにする。
●風通しの悪い狭い所に置く。
●じゅうたんや布団の上に置く。
●テーブルクロスなどを掛ける。

## ■転倒防止の処置を行う

モニターが倒れると、けがの原因となることがあります。

## ■電源プラグをすぐに抜くことができるように本機を据え付ける

本機が異常や故障となったとき、電源プラグをコンセントに差し込んだままにしておくと火災・感電の原因となることがあります。

## ■電源プラグ、アンテナ線などの外部の接続線や転倒防止の処置をしたまま移動させない

火災・感電・けがの原因となることがあります。

## ■キャスター（車）止めをする

テレビ台にキャスター（車）がついている場合は、キャスター止めをする。
テレビが動いたり、倒れたりするとけがの原因となることがあります。

## ■アンテナ工事には技術と経験が必要ですので販売店にご相談ください

●送配電線から離れた場所に設置する。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。
●特にBS、CS放送受信用アンテナは強風の影響を受けやすいので堅固に取りつける。

## 使用するとき

# ⚠警告

### ■本機の上に花びんなどを置かない

水ぬれ禁止

本機の内部に水などが入ると火災・感電の原因となります。
万一、入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。
- 花びん、水槽、植木鉢、コップ、化粧品、薬品などを置かない。
- ペットが乗らない様、ご注意ください。

### ■本機に水をこぼしたり、ぬらしたりしない

水ぬれ禁止

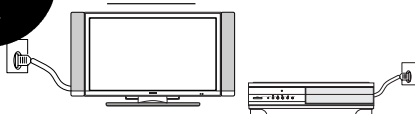
火災・感電の原因となります。
- 雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

### ■風呂場やシャワー室で使用しない

風呂場やシャワー室での使用禁止

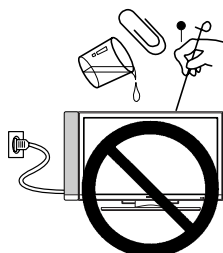
火災・感電の原因となります。

### ■指定の電源電圧で使用する

本体に表示された電源電圧以外で使用すると火災・感電の原因となります。

### ■雷が鳴り出したら、アンテナ線や本機には触れない

接触禁止

感電の原因となります。

### ■異物を入れない

通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落し込んだりすると、火災・感電の原因となります。
万一、入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。
特にお子様にはご注意ください。

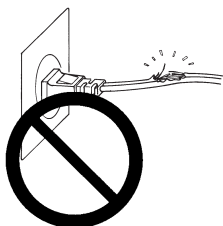
### ■裏ぶたやカバーをはずさない、本機を改造しない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

### ■電源プラグの刃や周辺に付着した埃や金属類を取り除く

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
お手入れは、電源プラグを抜いてから乾いた布で行ってください。

### ■電源コードを傷つけない

火災・感電の原因となります。
傷ついたら、電源プラグを抜いて販売店に交換をご依頼ください。
- 傷つける、破損させる、加工する、無理に曲げる、重いものをのせる、加熱する、引っ張るなどをしない。

### ■衝撃を与えない

万一、本機を落したり、キャビネットを破損した場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

第1章

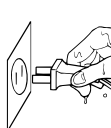
## ⚠注意

■ 電源プラグは根元まで確実に差し込む

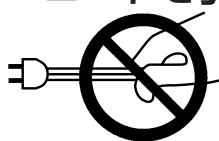
差し込みが不完全ですと発熱し火災の原因となることがあります。
また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

■ 電源プラグは、ゆるみのあるコンセントに差し込まない

発熱して火災の原因となることがあります。
ゆるみのある場合は、販売店に交換をご依頼ください。

■ ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

■ 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

電源コードを引っ張ると電源コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

■ スイーベル回転範囲内に物を置いたり操作中に顔や手などを入れない

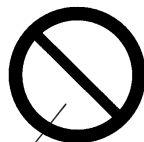
ものが倒れて壊れたり、けがの原因となることがあります。

■ 本機に乗ったり、ぶら下がったりしない

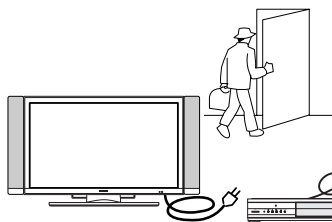
倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。
特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ 本機の上に重いものを置かない

倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

■ 間違った電池の使い方をしない

電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
特に、次の使い方はしない。

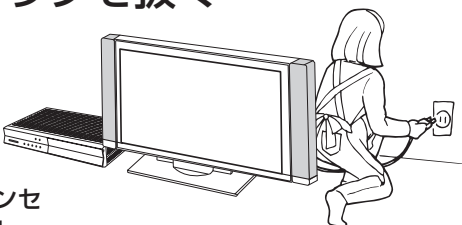
- 本機で指定されていない電池の使用
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用
- 本機の極性表示（プラスとマイナスの向き）とは逆向きに電池を使用

■ 長期間ご使用にならないときは必ず電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜くこと

## お手入れするとき

## ⚠注意

■ お手入れの際は、安全のため電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜くこと

■ 年に一度は内部の掃除を販売店にご相談ください

本機の内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。内部の掃除費用については販売店にご相談ください。

# お守りください

## ■高温になるところに置かないでください

キャビネットや部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。
●直射日光や熱器具の近くなど。

## ■お部屋は適度の明るさで

暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよくありません。

## ■長時間連続して画面を見ていると目が疲れます

時々、画面から離れて目を休めてください。

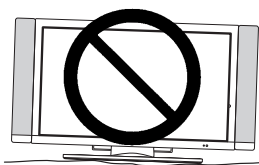
## ■適度な音量で

特に夜間での音量は小さい音でも通りやすいので、窓を閉めたりヘッドホンを利用したりして、隣り近所に対し十分の配慮をして、生活環境を守りましょう。

## ■本機および本機の破片、付属品を廃棄するときは

本機および本機の破片、付属品などを廃棄する際は、必ず、販売店にご相談ください。

## ■プラズマテレビモニターの設置について

傾斜面や、平坦でない面、カーペットなどの柔らかい面、変形した面などへの設置をさけてください。リモコンによるスイーベル動作が不安定になる場合があります。

## ■パネルのお手入れについて

本機のパネル表面は、付属のクリーニングクロスや柔らかい布（綿・ネル等）で軽く乾拭きしてください。

硬い布で拭いたり、強く擦ったりしますと、パネルの表面が傷付きますのでご注意ください。
指紋など油脂類の汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に布をひたし絞ってふき取ってから、乾いた柔らかい布で仕上げてください。

## ■キャビネットのお手入れについて

●キャビネットの表面をベンジン、シンナーなどでふいたり、殺虫剤などの揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。
変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。
●化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
●キャビネットや操作パネル部分の汚れは、付属のクリーニングクロスや柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときには、水で薄めた中性洗剤に布をひたしよく絞ってからふき取り、乾いた布で仕上げてください。
特に、次の洗剤などは塗装を傷めますので使用しないでください。
・アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、みがき粉、粉石鹸、カーワックス類など

## ■搬送についてのご注意

●引越しや修理などで本機を運搬する場合は、本機用の梱包箱とクッション材をご使用ください。

●本機を正常にまた安全に使用して頂くために、次のような場所への設置は避けて下さい。
・ほこりや振動が多い場所
・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
・コンピュータや電子レンジ等のすぐ側や、強い磁界を発生する装置等が近くにある場所
・高周波雑音を発生する高周波ミシン、電気溶接機等が近くにある場所
・製氷倉庫など特に温度の下がる場所

●作動中に接続コード類がはずれたり、接続不安定になると誤動作の原因となります。
●作動中は、コネクタの接続部には絶対に触れないで下さい。

# お知らせ

■ 本機能をご使用になる場合には、ADSL、CATV等インターネット接続業者とのご契約が必要です。

■ 本機に接続できる回線は、専用回線(イーサネット)のみです。ISDNや一般回線のダイアルアップ等には対応していません。

■ 回線の接続環境や接続先のサーバーの状況等によっては、正しく動作しない場合があります。

■ インターネットのコンテンツ内容によっては、本機のソフトウエアが対応していないものがあります。
これによって映像、文字等が正しく表示されない、または機能が正しく動作しない場合があります。

■ 本機能において、回線の接続環境やコンテンツ内容等により操作ができなくなった場合は、AVCステーションの電源をオフにしてから再度電源ボタンを押してください。このとき、機能待機ランプが点灯している場合は、AVCステーション本体の電源ボタンを5秒以上押して、機能待機ランプ消灯後、再度電源ボタンを押してください。この場合、お客様の設定された予約状況等に影響がないことをご確認の上操作を行ってください。

■ 本機で採用しているインターネット用リモコン(品名；C-H15)は、省エネモード機能が装備されています。「2.1　リモコンの基本操作」16
そのため、リモコンの操作をやめて2分ほどすると、カーソルの移動が不能になります。(故障ではありません。)このような場合は、リモコンのいずれかのボタンを押すことで省エネモードが解除されます。

■ 本機を長時間連続的に使用することにより、疲労が蓄積されて目が疲れる・目が重い・物がぼやけて見えるといった症状や、首から肩・手首にかけて、痺れたり全体的に痛んだりするといった症状が発生する可能性があります。使用するときには正しい姿勢をとり、テレビを適切に調整して使用してください。また、適度な休憩をとり、軽い体操などをして疲労を蓄積させないように注意してください。

■ インターネットでは日々の技術革新により新技術が採用されています。本機では今後の新技術に対して対応できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

■ ブラウザ画面やメール画面などの映像を長時間または繰返し表示させた場合、プラズマパネルが焼きつく場合があります。焼きつき防止のため上段メニューを非表示としてご使用されることを推奨します。
「4.1.4　ブラウザの利用環境を変更するには」46

# 留意点

■ 本機の使用により、通信等の機会を逸したために生じた損害等の補償につきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ インターネット接続業者とご契約される際は、ご自宅の回線品質等を十分にご確認の上ご契約ください。

■ 本機で採用しているインターネット機能は基本的に閲覧機能およびメール機能のみです。インターネット上のプラグインソフト等の機能には対応していません。また、メールに添付されたパソコン等で作成されたアプリケーションデータは、対応できないものがあります。「4.2.1　受け取ったメールを見るには」54

■ テレビを視聴されているときも、インターネット機能は基本的に常時接続されています。(「ADSLの設定」では、自動切断することもできます。「3.4.1　ADSLの設定」29)インターネット接続業者との契約内容を十分ご確認の上ご使用ください。

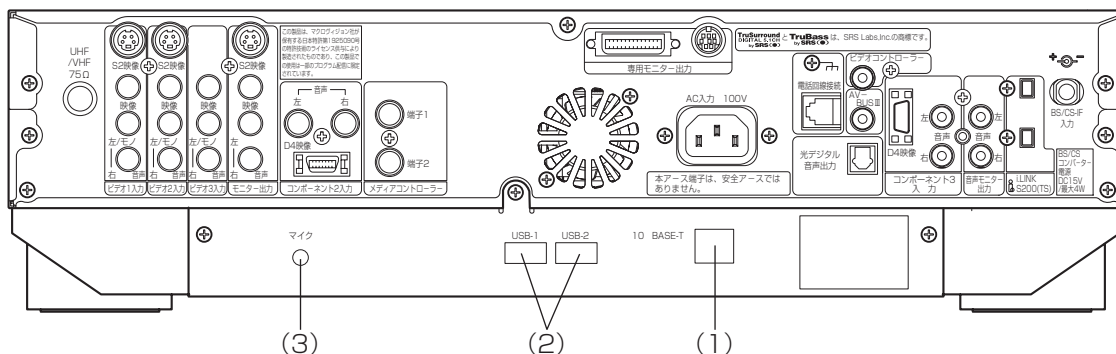
■ インターネット上の画像や音声等の情報については、個人として楽しむなどのほかは著作権法上権利者に無断で使用できません。

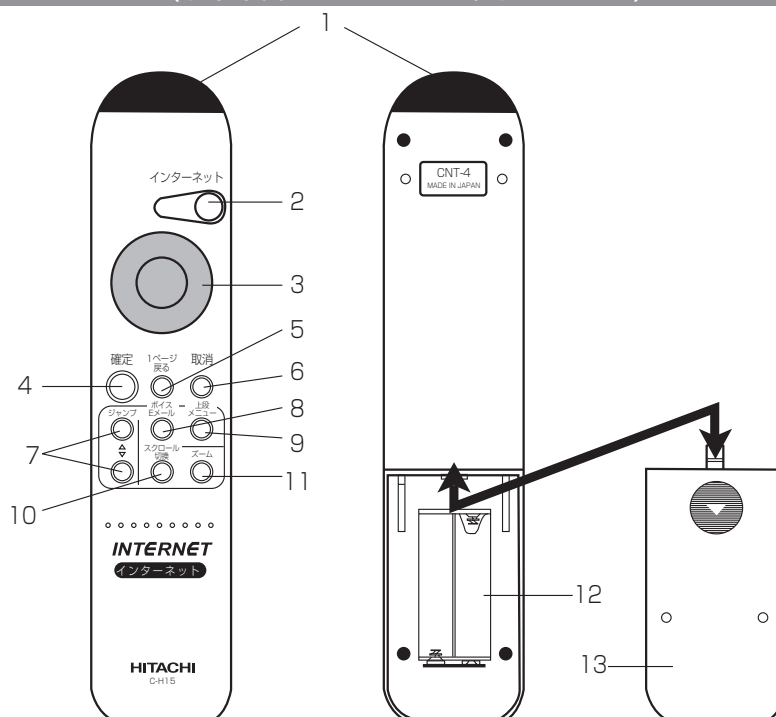
■ 英語教材等のサービスによっては、対応していないものがあります。

■ 本機の仕様および機能などは、予告なく変更することがあります。

# ● 1.3 各部名称 ●



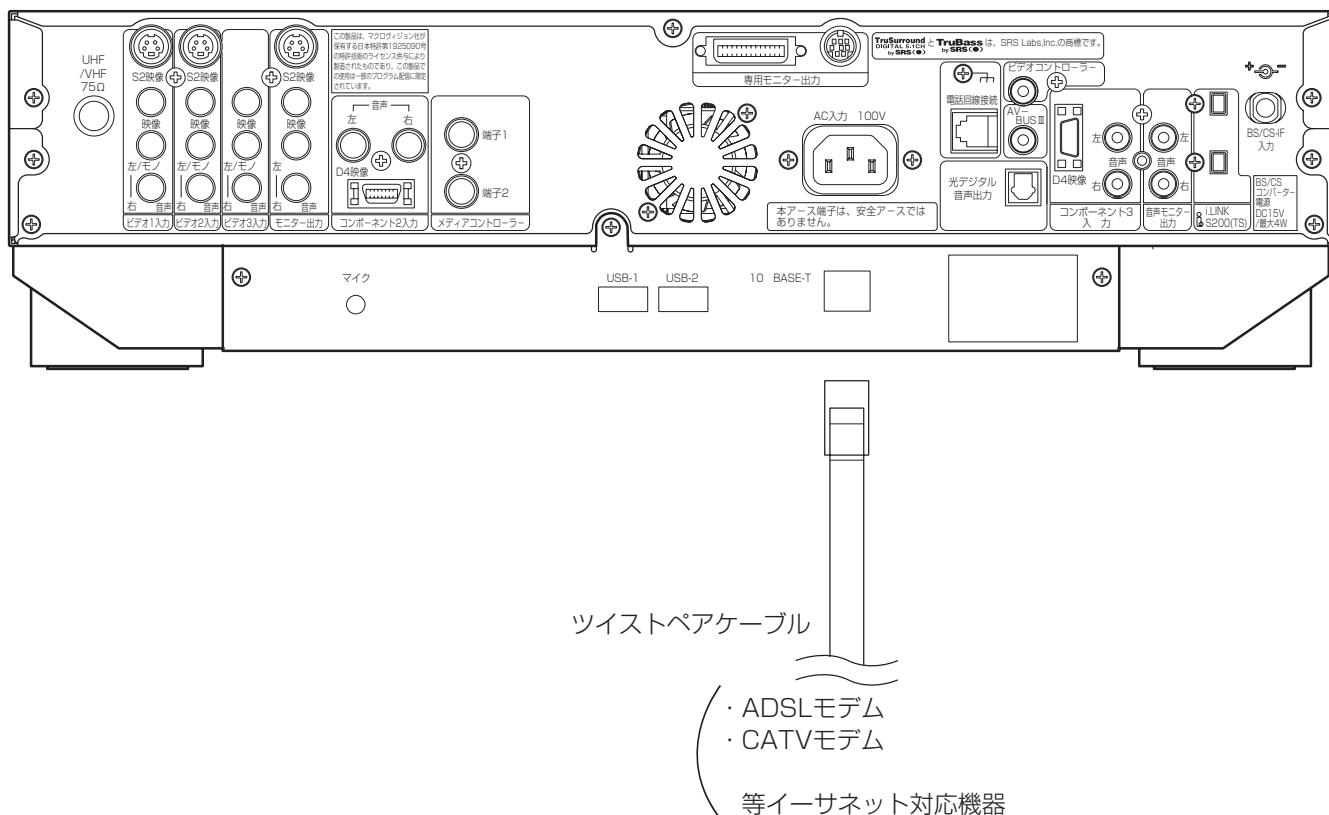
## AVCステーション背面

（1）10BASE-Tポート　ツイストペアケーブルを接続します。
（2）USBポート　デジタルカメラ、プリンタを接続します。(対応機器；74 )
（3）マイク端子　コンデンサマイク(ミニプラグ)を接続します。

## インターネット用リモコン
(以下本書ではリモコンと記述します。)

| | | |
|---|---|---|
| 1 | リモコン送信部 | 本体に信号を送信します。 |
| 2 | インターネットボタン | インターネット画面とTV画面を切り替えます。 |
| 3 | 方向キー | 傾けることにより画面上のカーソル等を移動させます。また、押した場合は確定ボタンとして機能します。 |
| 4 | 確定ボタン | 画面上のボタン等を選ぶ時などに使用します。 |
| 5 | 1ページ戻るボタン | ブラウザで前のページに戻る時に使用します。 |
| 6 | 取消ボタン | 操作を取り消す時などに使用します。 |
| 7 | ジャンプボタン（▲／▼） | ブラウザでリンクフォーカスの枠を移動したり、１画面分上下にスクロールする時に使用します。 |
| 8 | ボイスEメールボタン | 音声eメールモードに画面を切り替えます。 |
| 9 | 上段メニューボタン | 画面の上段にカーソルを移動させます。 |
| 10 | スクロール切替ボタン | スクロール方法を切り替えます。 |
| 11 | ズームボタン | カーソル付近を拡大します。 |
| 12 | 乾電池ボックス | 乾電池をセットする場所です。 |
| 13 | 電池カバー | 乾電池を入れる／交換する際に取り外します。 |

# ● 1.4 お使いいただくための準備 ●

## 1.4.1　接続方法

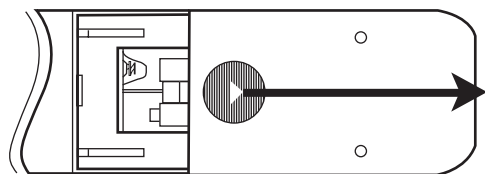
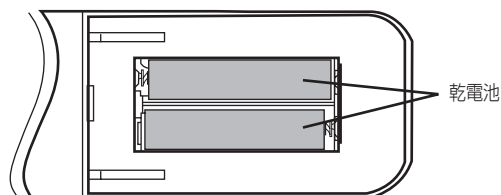
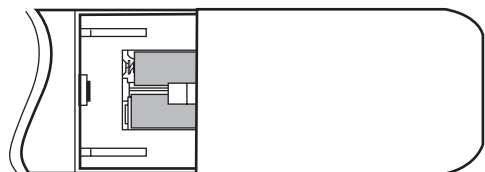
### 基本的な接続方法

ツイストペアケーブルをAVCステーションの後面の10 BASE-T(テンベースティー)ポートに接続します。

#### お知らせ

- ●ツイストペアケーブルは同梱されていません。
お客様にてご用意ください。
- ●ツイストペアケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルがあります。本機に接続するイーサネット対応機器の取扱説明書をご覧ください。
- ●ルータタイプのADSLモデムをご使用になる場合は、「3.2　ネットワークインターフェースの設定」24 により、「3.3.1 LANの設定」25 または「3.4.1　ADSLの設定」29 、「ネットワークサービスの設定」25 または 29 、「メールの設定」26 または 30 を設定後、ADSLモデムの取扱説明書をご覧になり、ADSLモデムのルータの設定を行ってください。
- ●本機は、ご契約されたインターネット接続業者からのCD-ROM等による自動設定は行えません。ご契約されたインターネット接続業者からの登録内容通知をご覧になって「3.2　ネットワークインターフェースの設定」24 を設定してください。

# 1.4.2　リモコンの準備



リモコンに付属の乾電池 2 本を入れます。

1.リモコン背面の電池カバーを矢印の方向にスライドします。

2.付属の単 4 形乾電池の＋極、－極を確かめ、－極から乾電池ボックスに入れます。

3.電池カバーを矢印の方向にスライドして取り付けます。

**⚠ 注意**

●新しい乾電池と使用済乾電池を混ぜて使用しないで下さい。 2 本とも新しい乾電池を御使用ください。
●乾電池をショートさせたり、分解や加熱、また火の中に投入しないで下さい。

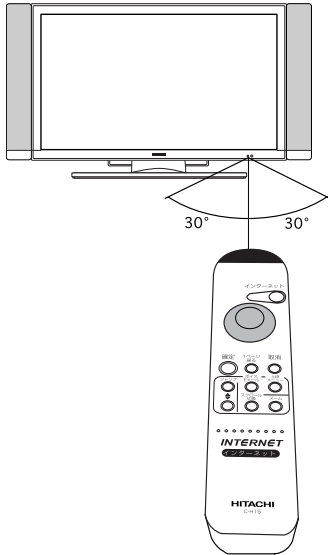
**お知らせ**

●リモコン操作ができる範囲が短くなってきたら、乾電池が消耗しています。このような時は、新しい乾電池に交換して下さい。電池寿命は使用頻度、電池の種類によって異なります。

●長時間使用しないときは、リモコンから乾電池を取り出して下さい。

# ● 2.1 リモコンの基本操作 ●

## リモコンをお使いになるには

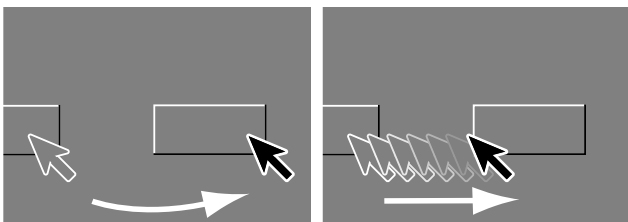
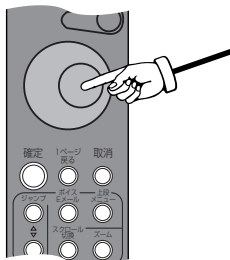
リモコンは下記の条件でモニターのリモコン受信窓に向けて操作してください。
距離　5m以内
角度　本体正面に対し上下左右30°以内

**お知らせ**

●AVCステーションのリモコン受信窓では操作できません。モニターの受信窓に向けて操作してください。
●リモコンとモニターのリモコン受信窓の間に障害物がないようにしてください。
●リモコンの操作ができる距離が短くなってきたら新しい乾電池（単4形乾電池2本）と交換してください。「1.4.2　リモコンの準備」15
●電池寿命につきましては、使用頻度や電池の種類で異なります。

### リモコンの省エネモードについて

本機のリモコンには電池の消耗を極力抑えるために省エネモード機能が装備されています。そのため、リモコンの操作をやめて2分程するとカーソルの移動が不能となります。このような場合は、リモコンのいずれかのボタン押します。これで省エネモードが解除されます。この際押されたボタンは機能しますのでモニター以外の方向に向けて押してください。

## 画面上のカーソルを移動させるには

画面上のカーソル移動はリモコンの方向キーを傾けることによっておこないます。

カーソルの動きは、各機能や機能の中でのモードによって異なり、メニューやボタン、エリアなどをジャンプ移動するものと、連続移動するものの2通りあります。図は方向キーを右に傾けたときのそれぞれのカーソルの動きです。

連続移動する場合、方向キーの傾ける角度によってカーソル速度をコントロールできます。

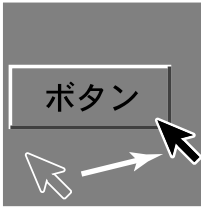
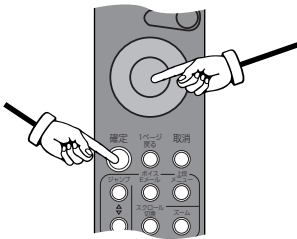
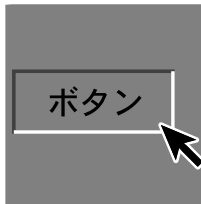
**お知らせ**

リモコンが省エネモードになって、カーソルが移動しない場合は、モニターに向けないでリモコンのいずれかのボタンを押してください。

**メ　モ**

●上記の2つのカーソルの動き方はリモコンのスクロール切替ボタンでかえることができます。（ズームをしている場合はかえられません。）
●ブラウザの場合、設定によってリモコンのジャンプボタンでカーソルをジャンプ移動させることができます。「キャッシュ／カーソル／クッキーの設定変更」47
●カーソルの移動速度は変更することができます。「カーソル速度を変更するには」18

# 画面上のメニューやボタンなどを選ぶには

1.カーソルを方向キーで目的のメニューやボタンなどまで移動します。

2.リモコンの確定ボタンまたは方向キーを押します。

目的のメニューやボタンが選ばれます。



# 文字を入力するには

1.文字入力エリアを選びます。
文字入力エリアに文字カーソル（■や｜）が表示され、文字入力モードとなります。

2.示されたスクリーンキーボードで文字を入力します。「2.2文字の入力方法」19

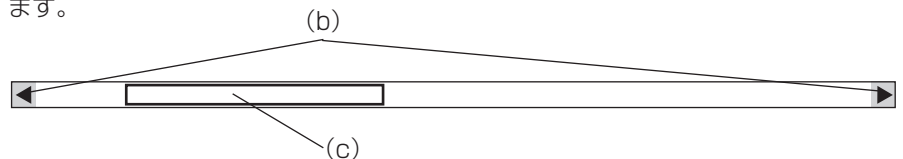
# 画面やリストなどをスクロールするには

**ブラウザのホームページや電子メールなどが１画面に収まりきらない場合、画面の端（上下、左右）にカーソルを移動し、さらにその方向にカーソルを移動させて画面をスクロールさせることにより全体を見ることができるようになります。**

縦横に表示されるスクロールバー（a）の両端にあるスクロールボタン（b）を 選ぶと画面全体が移動してその方向に隠れている部分が見えるようになります。

スクロールバーの真ん中にあるものはスクロールボックス（c）で画面全体に対する現在表示されている部分の割合に応じて長さが変化します。画面全体の大きさが現在表示されている画面より少し大きい程度の場合、スクロールボックスは長くなります。

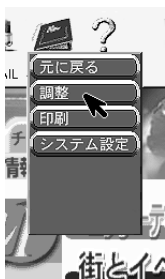
スクロールボタンとスクロールボックスの間を選んでもスクロールします。

また、画面の右もしくは下に表示されるスクロールバー（a）を利用し、リモコンの方向キーの操作により上下、左右に画面をスクロールして全体を見ることができます。

**メ　モ**

●ブラウザや電子メールの中では、カーソルを移動せずに画面をスクロールさせる画面スクロール機能が使用できます。「画面スクロールをするには」 49

●画面スクロールはリモコンのジャンプボタン（▲／▼）でも行える場合があります。「キャッシュ／カーソル／クッキーの設定変更」 47

# カーソル速度を変更するには

**ブラウザ、電子メールそれぞれの画面にある「メニュー」を選択すると表示されるサブメニューの中の「調整」を選びます。**

ブラウザ画面での「調整」

メールの受信と表示画面での「調整」

メールの作成と送信画面での「調整」

**表示された画面でカーソル速度を変更します。**
**「キャッシュ／カーソル／クッキーの設定変更」** 47

ブラウザ画面での変更画面

**お知らせ**

ブラウザの変更画面では「キャッシュ／カーソル」を選ぶと表示されます。

# ● 2.2 文字の入力方法 ●

**文字入力モードになったときに表示されるスクリーンキーボードで文字を入力することができます。「文字を入力するには」17**

## スクリーンキーボードについて

**スクリーンキーボード内の選択カーソル（□）で文字や機能を選びます。**

スクリーンキーボードは、モード選択エリア、入力／編集エリア、慣用語入力エリア、文字表示エリアおよび、かな漢字変換時に表示されるかな漢字変換編集エリアで構成されています。



### モード選択エリア

以下の中から入力するモード選びます。

●英数字モード（全角／半角）
半角英数字、全角英数字および慣用語を文字入力エリアに直接表示できます。
●かなモード
文字表示エリアにひらがなと全角数字を入力し、文字表示エリア内でかな漢字変換などの編集を行った後、文字入力エリアに表示できます。
●カナモード
文字表示エリアにカタカナと全角数字を入力し、文字表示エリア内の文字をそのまま文字入力エリアに表示できます。
●記号モード（全角／半角）
半角記号、すべての全角文字および慣用語を文字入力エリアに直接表示できます。
ただし、全角を選択すると慣用語入力エリアは記号の分類を選択するエリアとなります。

### 慣用語入力エリア

よく使われる慣用語が登録されており、選んだ慣用語が文字入力エリアに直接表示されます。
登録されている慣用語は各機能によって異なります。尚、かなモードおよびカナモード時は慣用語入力エリアは表示されません。

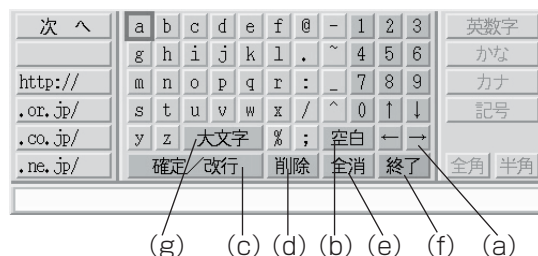
### 文字表示エリア

かなモードおよびカナモード時に、選んだ文字が表示されていきます。かなモードの場合、かな漢字変換を行えます。

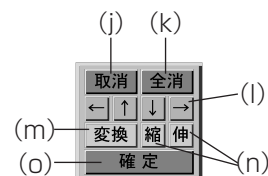
# スクリーンキーボードについて(つづき)

## 入力／編集エリア

文字入力やカーソルの移動、文字の削除などの編集を行なうことができます。

●矢印ボタン（a）
　画面上の文字入力エリアや文字表示エリアのカーソルを矢印の方向に移動させます。
●空白（空）ボタン（b）
　半角スペースを入力します。
●確定／改行ボタン（c）
　文字表示エリアに文字がある場合は編集を確定します。それ以外で文字入力エリアが1行の場合は、文字入力モードを終了します。文字入力エリアが複数行の場合は改行します。
●削除ボタン（d）
　カーソルの直前の文字を削除します。
●全消ボタン（e）
　文字表示エリアに文字がある場合はそれらを消去します。それ以外の場合で文字入力エリアが1行の場合は、エリア内の文字列をすべて消去します。文字入力エリアが複数行の場合は文字カーソルから行頭までを消去します。ただしカーソルが行頭にある場合は前の1行を消去します。
●終了ボタン（f）
　スクリーンキーボードを終了します。
●大文字（小文字）ボタン（g）
　英数字モードの大文字と小文字を切り替えます。
●変換ボタン（h）
　かなモード時に、かな漢字変換を行います。
●記号ボタン（i）
　かなモード時に入力／編集エリアを、記号の一覧に切り替えます。
　スクリーンキーボードの「戻る」ボタンで元に戻ります。

## かな漢字変換編集エリア

かなモード時に「変換」ボタンで表示されます。

●取消ボタン（j）
　直前の変換作業を取り消します。
●全消ボタン（k）
　表示エリア内の全ての内容を消去して変換を終了します。
●矢印ボタン（l）
　表示エリア内のカーソルまたは、変換候補選択カーソルを移動します。
●変換ボタン（m）
　次の変換候補を表示または選択します。
●縮ボタン／伸ボタン（n）
　変換をかける範囲を狭くしたり、広くしたりします。
●確定ボタン（o）
　変換した内容を確定します。

# かな漢字変換　例（「東京都豊島区」を入力するには）

## 1.かなモードの選択

スクリーンキーボードのモード選択エリアから「かな」を選びます。

## 2.文字の入力

入力／編集エリアから「と」「う」「き」「ょ」「う」「と」「と」「し」「ま」「く」と選んでいきます。
このとき、文字表示エリアに選んだ文字が表示されて いきます。

## 3.入力ミスの修正

(a)「とうきょうととしまく」と入力するところを「とうきょうととしまき」としてしまった場合、リモコンの取消ボタンを1回押し、「き」を消し、「く」を選び直します。
(b)「とうきょうととしまく」と入力するところを「とうきょうととすまく」としてしまった場合、

とうきょうととすまく＿

とうきょうととすまく　　（1）「←」を2回選び「ま」を選びます。

とうきょうととまく　　（2）リモコンの取消ボタンを1回押し「す」を削除します。

とうきょうととしまく＿　　（3）「し」を選び、「→」でもとの位置に文字カーソルを戻します。

## 4.かな漢字変換

「変換」を選びます。文字表示エリアに「東京と年幕」と表示されます。

## 5.誤変換の修正

「東京都豊島区」と変換するところ、「東京と年幕」となった場合、次の手順で修正します。

東京と年幕

とうきょうととしまく　　（1）「縮」を2回選び、文節を正しく区切り直します。

東京と豊島区　　（2）再度「変換」を選びます。

東京都豊島区　　（3）最初に出てきたのが「東京と」なので、再度「変換」を選びます。文字表示エリアに他の候補が表示されるので、「→」でカーソルを「東京都」に移動し「確定」で確定します。

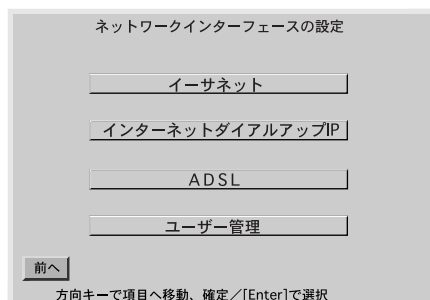
## 6.変換の確定

「東京都豊島区」と正しく表示されたら、「確定／改行」を選んで確定します。

## 7.文字入力の終了

スクリーンキーボードが表示されている場合は「終了」ボタンを選んで消します。この時文字入力モードのままであればリモコンの取消ボタンを押して終了します。

# ● 3.1 お使いになる環境ごとの設定のながれ ●

## 3.1.1　初めて設定する時の共通のながれ

ネットワークインターフェースの設定をしていない場合は、最初に表示されるネットワークインターフェースの設定画面から各設定画面に移ります。「3.2　ネットワークインターフェースの設定」24

**メ モ**

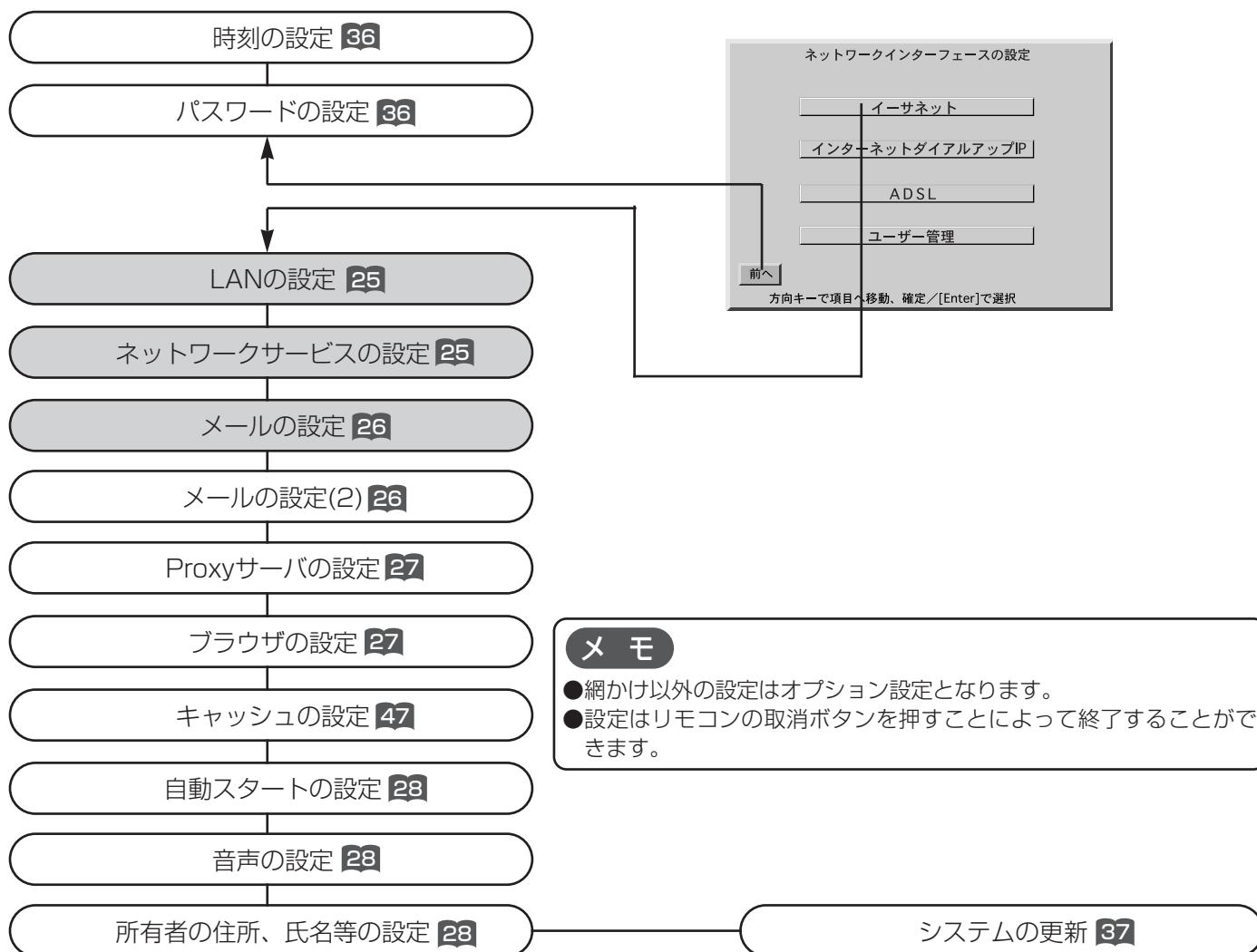
設定を途中で終了するにはリモコンの取消ボタンを押します。変更箇所を保存して、もしくは破棄してシステム設定を終了することができます。

## 3.1.2　イーサネットでご使用になる場合の設定のながれ

フレッツ・ADSL以外にご加入されている場合(24 お知らせ参照)

ネットワークインターフェースの設定
イーサネット
インターネットダイアルアップIP
ADSL
ユーザー管理
前へ
方向キーで項目へ移動、確定／[Enter]で選択

- 時刻の設定 36
- パスワードの設定 36
- LANの設定 25
- ネットワークサービスの設定 25
- メールの設定 26
- メールの設定(2) 26
- Proxyサーバの設定 27
- ブラウザの設定 27
- キャッシュの設定 47
- 自動スタートの設定 28
- 音声の設定 28
- 所有者の住所、氏名等の設定 28
- システムの更新 37

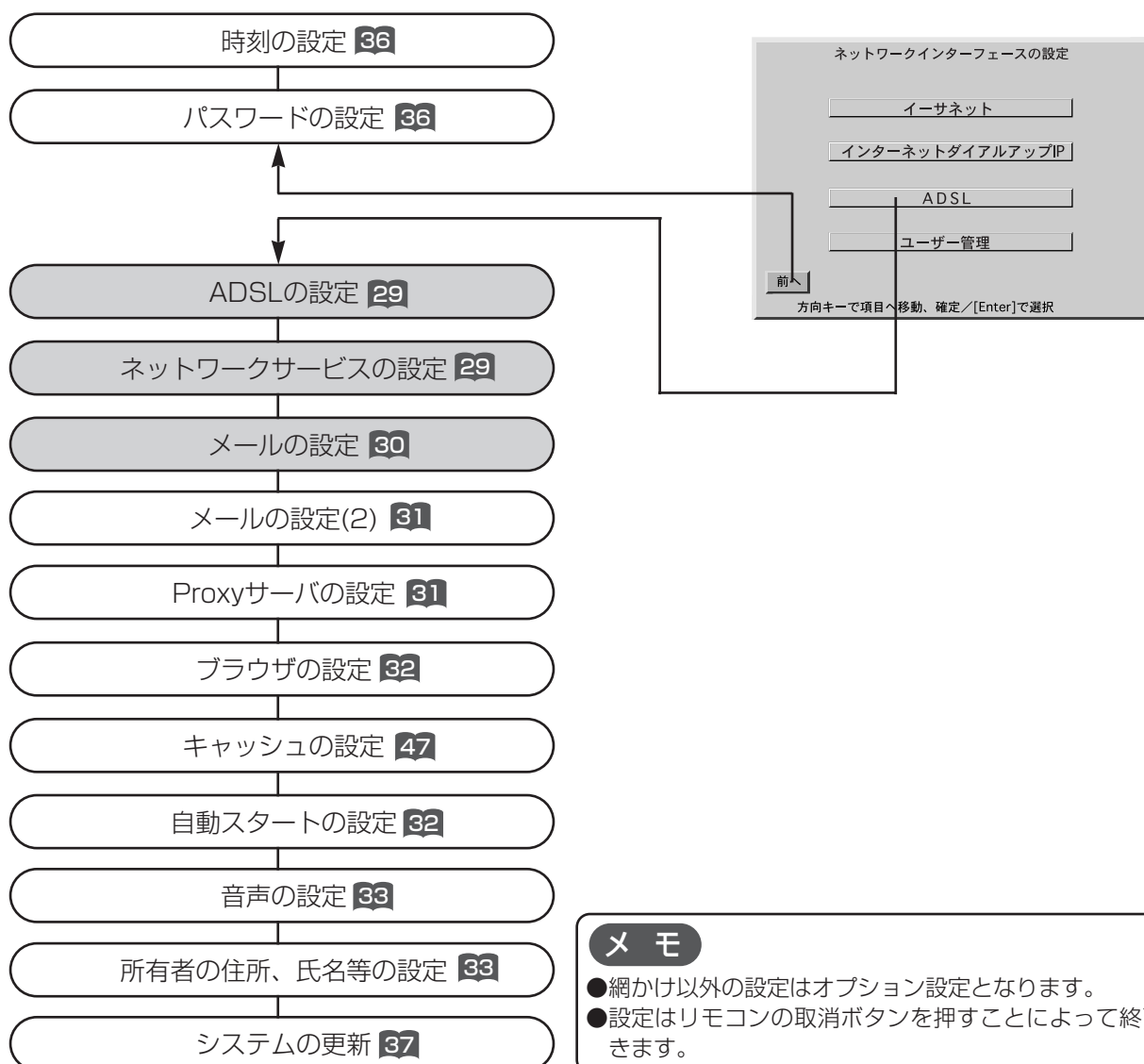
**メ モ**

●網かけ以外の設定はオプション設定となります。
●設定はリモコンの取消ボタンを押すことによって終了することができます。

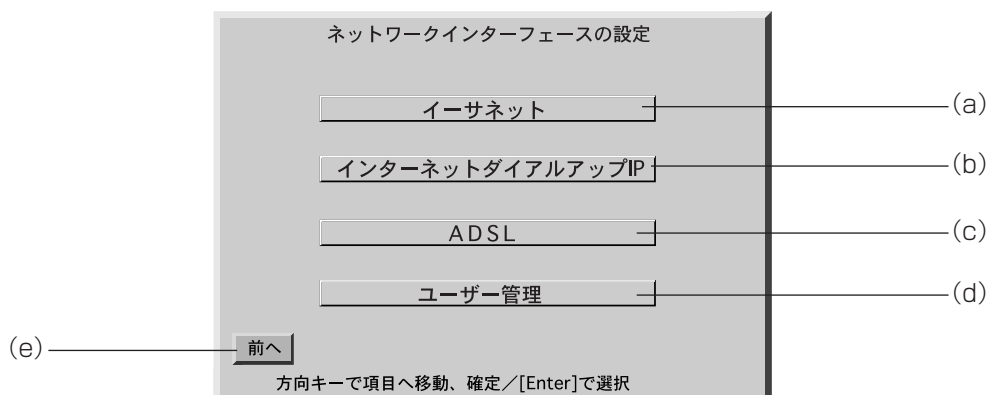
# 3.1.3　ADSLでご使用になる場合の設定のながれ

フレッツ・ADSLにご加入されている場合(24 お知らせ参照)

メ モ

●網かけ以外の設定はオプション設定となります。
●設定はリモコンの取消ボタンを押すことによって終了することができます。

第3章

# ● 3.2 ネットワークインターフェースの設定 ●

ご使用になるネットワークの環境を選びます。

## 「イーサネット」(a)

LANなどEthernet環境で使用する場合の設定をします。
「3.3　イーサネット」25

## 「インターネットダイアルアップIP」(b)

本製品ではサポートをしておりません。

## 「ADSLの設定」(c)

ADSLでインターネットに接続する場合の設定をします。
「3.4　ADSL」29

## 「ユーザー管理」(d)

複数人でご使用になる場合ユーザー登録を最大3人まで行えます。
「3.5　ユーザー管理」34

## 「前へ」(e)

時刻等の設定をします。
「3.6　その他の設定」36

**お知らせ**

● 「イーサネット」および「ADSL」の選択(2002年10月現在)

NTT殿提供のフレッツ・ADSLにご加入された場合のみ「ADSL」(b)を選択し、設定を行ってください。
「3.4　ADSL」29
フレッツ・ADSL以外にご加入された場合は、「イーサネット」(a)を選択し、設定を行ってください。
「3.3　イーサネット」25

# ● 3.3 イーサネット ●

## 3.3.1　LANの設定

本機のIPアドレスなどを設定します。

### 自動設定機能（DHCP）　(a)

本機の各種ネットワーク情報を自動的にDHCPサーバから得る場合「使用する」を選びます。通常「使用する」を選択します。
この時、以下の設定は入力できなくなります。

### 本体IPアドレス（b）

本機のIPアドレスを半角数字とピリオド"."で入力します。
（例）　123.45.67.89

### ネットマスク（c）

本機が接続されるネットワークのネットマスクを半角数字とピリオド"."で入力します。
（例）　255.255.255.0

### ルータIPアドレス（d）

本機が接続されるネットワークのルータのIPアドレス（デフォルトルート）を半角数字とピリオド"."で入力します。
（例）　123.45.67.1

**お知らせ**

ここで設定する情報は、ご契約されたインターネット接続業者からの登録内容通知を確認してください。設定する情報が不明の場合はインターネット接続業者に確認してください。接続業者によっては、設定を必要としない項目もあります。

## 3.3.2　ネットワークサービスの設定

DNS（ドメインネームサービス）の情報を設定します。通常DNSは設定する必要がありません。

### サーバIPアドレス（1）(a)

DNSサーバのIPアドレスを半角数字とピリオド"."で入力します。
（例）　123.45.67.89

### サーバIPアドレス（2）(b)

複数指定されている場合、こちらにも同様に半角数字とピリオド"."で入力します。

### ドメインネーム（c）

ネットワークのドメインネームを半角英数字で入力します。
（例）　hitachi.co.jp

**お知らせ**

ここで設定する情報は、ご契約されたインターネット接続業者からの登録内容通知を確認してください。設定する情報が不明の場合はインターネット接続業者に確認してください。接続業者によっては、設定を必要としない項目もあります。

# 3.3.3　メールの設定

**電子メールの設定をします。**

## POP（受信用）(a)

受信用メールサーバ名又は、受信用メールサーバのIPアドレスを半角英数字で入力します。
（例）pop.hitachi.co.jp

## SMTP（送信用）(b)

送信用メールサーバ名又は、送信用メールサーバのIPアドレスを半角英数字で入力します。受信用と同じ場合は入力する必要はありません。
（例）　mail.hitachi.co.jp

## 氏名（c）

氏名等を入力してください。
（例1）　TARO　　（例2）　日本太郎
ユーザー名を入力します。

## メールボックス名（d）

左隣りの氏名に対応するメールボックス名（メールアドレス）を半角英数字で入力します。
（例）taro@hitachi.co.jp

## パスワード（e）

左隣りのメールボックス名（メールアドレス）に対応するパスワードを入力します。入力した文字は"＊"で表示されます。

## 終了（f）

「3.3　イーサネットの設定」を終了します。「オプション設定」を行わない場合は、「3.7　接続テスト」38 を行ってください。

**お知らせ**

ここで設定する情報は、ご契約されたインターネット接続業者からの登録内容通知を確認してください。設定する情報が不明の場合はインターネット接続業者に確認してください。

# 3.3.4　メールの設定(2)

**メールチェック機能とPOPサーバアカウントの設定をします。**

**お知らせ**

メールチェック機能を使うには、メールの設定を先に行う必要があります。

## メールチェック（a）

メールチェック機能を使用する場合は「使う」を選びます。

## 間隔（b）

メールをチェックする間隔を指定します。

## アカウント（c）

POPサーバアカウントを設定します。通常は設定する必要がありません。

**メ　モ**

●メールチェック機能とは、ブラウザやメールの画面で回線が接続されている状態の時、一番最近に届いた電子メールが既に読まれているかどうかを自動的にチェックする機能です。 また、この機能を使用するとブラウザやメールの画面の右下に正方形のインジケータが表示されます。インジケータの意味は以下の通りです。

白　　　　：まだチェックしていない状態。
　　　　　　または、一番最近に届いた電子メールが既に読まれている場合。

黄/緑の点滅：一番最近に届いた電子メールがまだ読まれていない場合。

赤　　　　：何らかの理由でメールサーバにアクセスできなかった場合。

●TVリモコンの「メニュー」→「他の設定」で「メール表示」を入にするとTV、ブラウザ、メールのいずれの画面においても画面右下に一番最近に届いた電子メールがまだ読まれていない場合に「メールがあります」と約15秒間表示されます。

**お知らせ**

接続先のメールサーバによっては、「メールがあります」という表示が正しく表示されない場合があります。

# 3.3.5　Proxyサーバの設定

必要であればProxyサーバの設定をします。通常は、Proxyサーバを「使用しない」を選択してください。「使用しない」を選択した場合は、その他の設定をする必要はありません。

### Proxyサーバ（a）

Proxyサーバーを使用する場合は、「使用する」を選びます。

### HTTPサーバ（b）

Proxyサーバ名又はProxyサーバーのIPアドレスとポート番号を半角英数字で入力します。

### セキュリティサーバ（c）

セキュリティサーバがある場合は設定します。

### No Proxy（d）

必要であればProxyサーバを経由しないドメイン名を設定します。



# 3.3.6　ブラウザの設定

ブラウザの環境について設定します。

### インターネットホームページ（a）

お好みのホームページを半角英数字で入力します。
（例）　http://www.hitachi.co.jp
ここで登録したホームページはブラウザ起動時や、Homeアイコンをクリックした時に簡単に呼び出すことができます。ただし、空欄の場合は出荷時の指定のホームページ「BB-TV」(http://www.bb-tv.com/hitachil)が呼び出されます。

### ホームページ（b）

ブラウザ起動時に自動的にホームページを表示する場合は「インターネット」を、しない場合は「なし」を選びます。

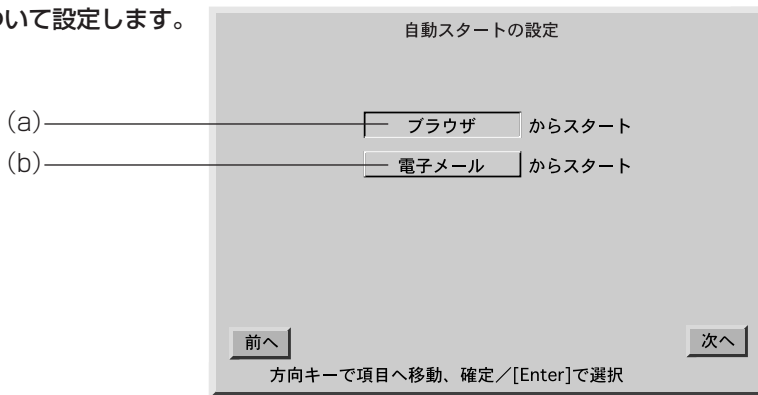
### フォントサイズ（c）

ホームページに表示される文字の大きさを「14ドット」「16ドット」「24ドット」から選びます。

### イメージ（d）

ホームページの画像データを表示させたくない時は「無し」を選びます。

# 3.3.7　自動スタートの設定

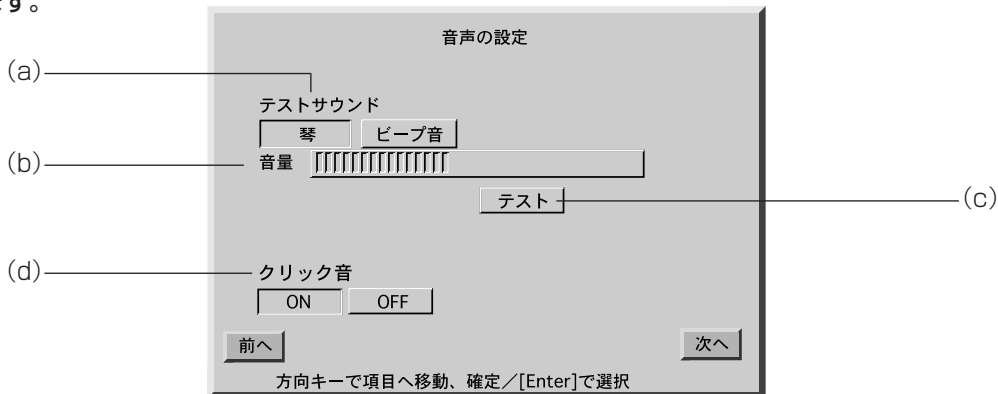
起動時の環境について設定します。

### 「ブラウザ」(a)

起動時にブラウザがスタートします。

### 「電子メール」(b)

起動時に電子メールがスタートします。

# 3.3.8　音声の設定

音声の設定をします。

### テストサウンド（a）

音量のテストをする際の音の種類を「琴」「ビープ音」から選びます。

### 音量（b）

音量を設定します。バーの上でリモコンの確定ボタンを押すと音量を変えることができます。

### 「テスト」（c）

テストサウンドで選んだ音を設定した音量で鳴らします。

### クリック音（d）

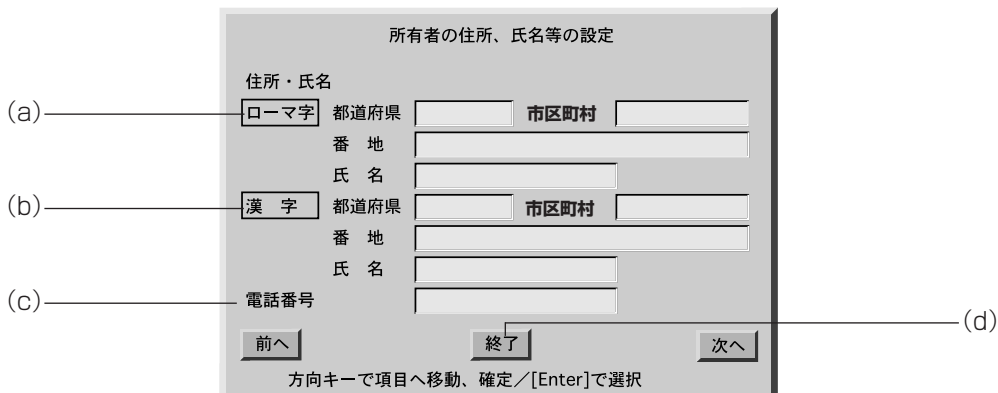
「OFF」を選ぶと、画面上のボタンを選んだ時などに出力されるクリック音が鳴らなくなります。

# 3.3.9　所有者の住所、氏名等の設定

ご利用者の情報を設定します。（将来の機能拡張用であり、特に設定する必要はありません。）

### ローマ字（a）

住所、氏名をローマ字で入力します。

### 漢字（b）

住所、氏名を漢字で入力します。

### 電話番号（c）

電話番号を半角英数字とハイフン " − " で入力します。

### 終了（d）

「3.3　イーサネット」の設定を終了します。「3.7　接続テスト」38を行ってください。

# ● 3.4 ADSL ●

## 3.4.1　ADSLの設定

**ユーザ名、パスワード等の設定を行います。**

### ユーザ名（a）

プロバイダから指定されたユーザ名を入力します。
(ユーザーIDと記載されている場合もあります。)

### パスワード（b）

ユーザ名に対応したパスワードを入力します。

### プロトコル（c）

プロバイダが対応しているプロトコルを選択します。
通常「PPPoE」を選択してください。

### 自動切断

操作をしていない場合に自動的に回線を切断するかどうかを設定します。
「する」の場合は切断するまでの時間も設定します。



**お知らせ**

ここで設定する情報は、ご契約されたインターネット接続業者からの登録内容通知を確認してください。設定する情報が不明の場合はインターネット接続業者に確認してください。接続業者によっては、設定を必要としない項目もあります。

## 3.4.2　ネットワークサービスの設定

**DNS（ドメインネームサービス）の情報を設定します。通常DNSは設定する必要がありません。**

### サーバIPアドレス（1）（a）

DNSサーバのIPアドレスを半角数字とピリオド"."で入力します。
（例）　123.45.67.89

### サーバIPアドレス（2）（b）

複数指定されている場合、こちらにも同様に半角数字とピリオド"."で入力します。

### ドメインネーム（c）

ネットワークのドメインネームを半角英数字で入力します。
（例）　hitachi.co.jp

**お知らせ**

ここで設定する情報は、ご契約されたインターネット接続業者からの登録内容通知を確認してください。設定する情報が不明の場合はインターネット接続業者に確認してください。接続業者によっては、設定を必要としない項目もあります。

# 3.4.3 メールの設定

電子メールの設定をします。

## POP（受信用）(a)

受信用メールサーバ名又は、受信用メールサーバのIPアドレスを半角英数字で入力します。
（例） pop.hitachi.co.jp

## SMTP（送信用）(b)

送信用メールサーバ名又は、送信用メールサーバのIPアドレスを半角英数字で入力します。受信用と同じ場合は入力する必要はありません。
（例） mail.hitachi.co.jp

## 氏名（c）

氏名等を入力してください。
（例1） TARO　（例2） 日本太郎
ユーザー名を入力します。

## メールボックス名（d）

左隣りの氏名に対応するメールボックス名（メールアドレス）を半角英数字で入力します。
（例）taro@hitachi.co.jp

## パスワード（e）

左隣りのメールボックス名（メールアドレス）に対応するパスワードを入力します。入力した文字は"＊"で表示されます。

## 終了（f）

「3.4　ADSL」の設定を終了します。「オプション設定」を行なわない場合は、「3.7　接続テスト」38 を行ってください。

**お知らせ**

ここで設定する情報は、ご契約されたインターネット接続業者からの登録内容通知を確認してください。設定する情報が不明の場合はインターネット接続業者に確認してください。

# 3.4.4 メールの設定(2)

**メールチェック機能とPOPサーバアカウントの設定をします。**

## メールチェック（a）

メールチェック機能を使用する場合は「使う」を選びます。

## 間隔（b）

メールをチェックする間隔を指定します。

## アカウント（c）

POPサーバアカウントを設定します。通常は設定する必要がありません。

**メ モ**

●メールチェック機能とは、ブラウザやメールの画面で回線が接続されている状態の時、一番最近に届いた電子メールが既に読まれているかどうかを自動的にチェックする機能です。
また、この機能を使用するとブラウザやメールの画面の右下に正方形のインジケータが表示されます。インジケータの意味は以下の通りです。

| | |
|---|---|
| 白 | ：まだチェックしていない状態。<br>または、一番最近に届いた電子メールが既に読まれている場合。 |
| 黄/緑の点滅 | ：一番最近に届いた電子メールがまだ読まれていない場合。 |
| 赤 | ：何らかの理由でメールサーバにアクセスできなかった場合。 |

●TVリモコンの「メニュー」→「他の設定」で「メール表示」を入にするとTV、ブラウザ、メールのいずれの画面においても画面右下に一番最近に届いた電子メールがまだ読まれていない場合に「メールがあります」と約15秒間表示されます。

**お知らせ**

●メールチェック機能を使うには、メールの設定を先に行う必要があります。「3.4.3 メールの設定」30
●接続先のメールサーバによっては、「メールがあります」という表示が正しく表示されない場合があります。



# 3.4.5 Proxyサーバの設定

**必要であればProxyサーバの設定をします。通常は、Proxyサーバを「使用しない」を選択してください。「使用しない」を選択した場合は、その他の設定をする必要はありません。**

## Proxyサーバ（a）

Proxyサーバーを使用する場合は、「使用する」を選びます。

## HTTPサーバ（b）

Proxyサーバ名又はProxyサーバーのIPアドレスとポート番号を半角英数字で入力します。

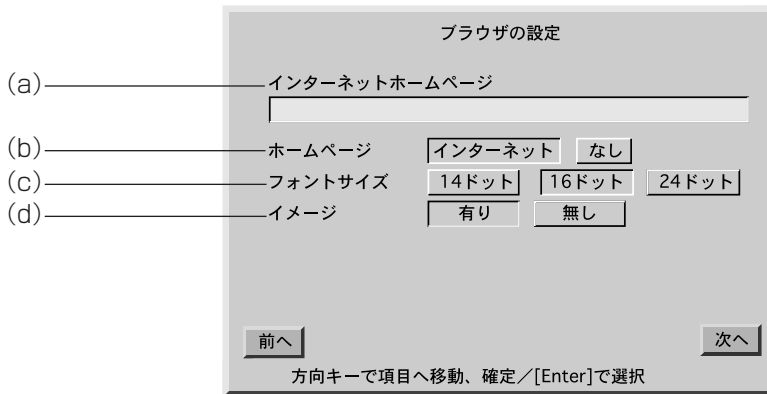
## セキュリティサーバ（c）

セキュリティサーバがある場合は設定します。

## No Proxy（d）

必要であればProxyサーバを経由しないドメイン名を設定します。

# 3.4.6　ブラウザの設定

ブラウザの環境について設定します。

## インターネットホームページ（a）

お好みのホームページを半角英数字で入力します。
（例）　http://www.hitachi.co.jp
ここで登録したホームページはブラウザ起動時や、Homeアイコンをクリックした時に簡単に呼び出すことができます。ただし、空欄の場合は出荷時の指定のホームページ「BB-TV」(http://www.bb-tv.com/hitachi)が呼び出されます。

## ホームページ（b）

ブラウザ起動時に自動的にホームページを表示する場合は「インターネット」を、しない場合は「なし」を選びます。

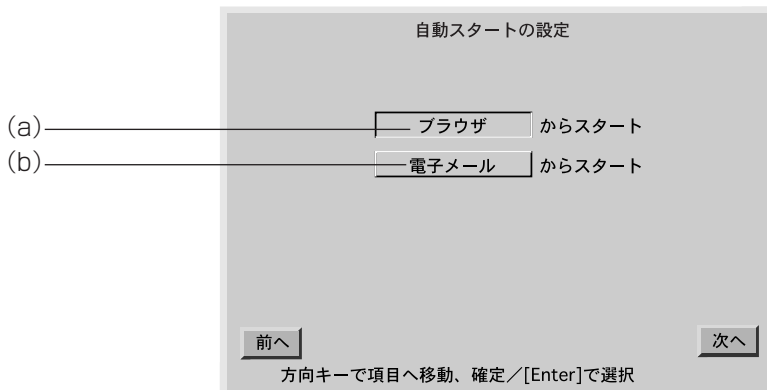
## フォントサイズ（c）

ホームページに表示される文字の大きさを「14ドット」「16ドット」「24ドット」から選びます。

## イメージ（d）

ホームページの画像データを表示させたくない時は「無し」を選びます。

# 3.4.7　自動スタートの設定

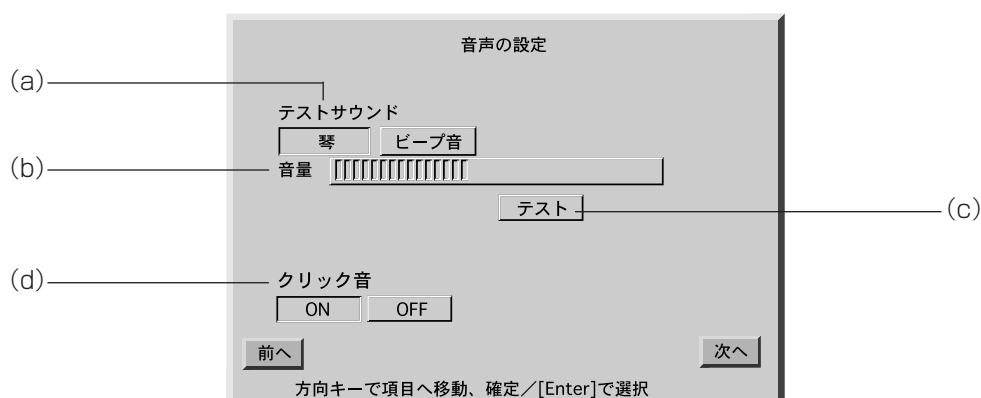
起動時の環境について設定します。

## 「ブラウザ」（a）

起動時にブラウザがスタートします。

## 「電子メール」（b）

起動時に電子メールがスタートします。

# 3.4.8　音声の設定

音声の設定をします。

## テストサウンド（a）

音量のテストをする際の音の種類を「琴」「ビープ音」から選びます。

## 音量（b）

音量を設定します。バーの上でリモコンの確定ボタンを押すと音量を変えることができます。

## 「テスト」（c）

テストサウンドで選んだ音を設定した音量で鳴らします。

## クリック音（d）

「OFF」を選ぶと、画面上のボタンを選んだ時などに出力されるクリック音が鳴らなくなります。

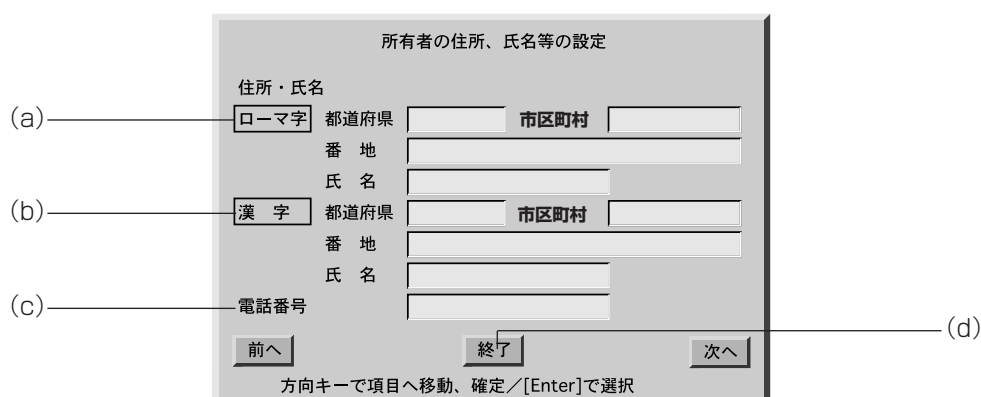


# 3.4.9　所有者の住所、氏名等の設定

ご利用者の情報を設定します。（将来の機能拡張用であり特に設定する必要はありません。）

## ローマ字（a）

住所、氏名をローマ字で入力します。

## 漢字（b）

住所、氏名を漢字で入力します。

## 電話番号（c）

電話番号を半角英数字とハイフン"-"で入力します。

## 終了（d）

「3.4　ADSL」の設定を終了します。「3.7　接続テスト」38 を行ってください。

# ● 3.5 ユーザー管理 ●

**通常のご使用では、ユーザー管理を設定する必要はありません。**

## 3.5.1　ユーザー名／パスワードの設定

**複数人でご使用になる場合、ユーザー登録をしますと、パスワードの設定、ネットワークインターフェースの設定、メールの設定、ブックマーク、アドレスリスト等の情報を個別に持つことができます。**

### 使用中(a)
現在使用中のユーザーアカウントを示します。

### 登録(b)
ユーザーを 3 人まで登録できます。

### 変更(c)
既に登録されているユーザー登録を変更します。
「3.5.2　ユーザー登録／変更画面」

### 削除(d)
既に登録されているユーザー登録を削除します。

**メ　モ**

「使用中」のユーザーを削除した場合は、「 ⚠ 現在使用中のユーザーアカウントを削除しようとしています。よろしいですか？」というメッセージが表示されます。「はい」を選択すると「 ⚠ 再起動します」というメッセージが表示され、「確認」ボタンを押すと、「時刻の設定」36 画面が表示されます。「3.6.2　時刻の設定」36 と「3.2　ネットワークインターフェースの設定」24 を再設定してください。

## 3.5.2　ユーザー登録／変更画面

**ユーザー名、パスワードを設定します。**

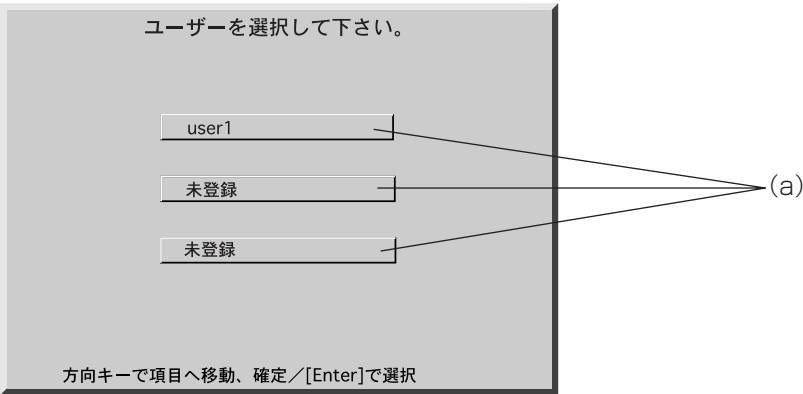
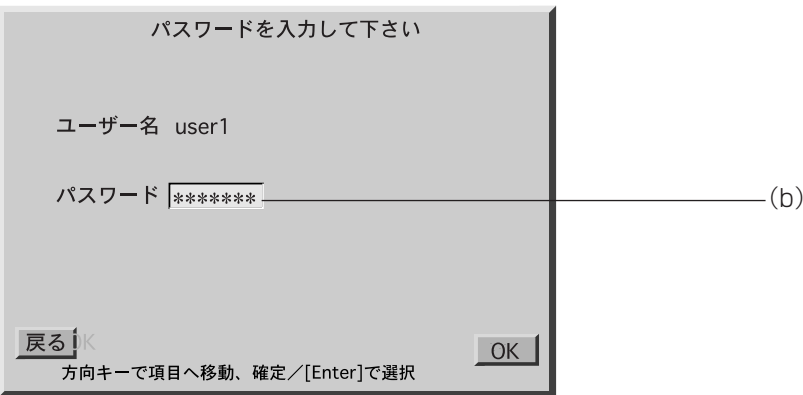
### ユーザー名(a)
ユーザー名を入力します。

### パスワード(b)
パスワードを半角英数字(最大7文字）で入力します。

**メ　モ**

- ユーザー名のみ入力し、パスワードを設定しないこともできます。
  パスワードを設定した場合には、必ず巻末の設定メモ欄にご記入ください。
- 「使用中」と異なる新しいユーザーアカウントを登録した場合には、「登録」ボタンを押すと、「 ⚠ ×××(現在使用中のユーザーアカウント)を△△△(新しく登録中のユーザーアカウント)にコピーしますか？」と表示されます。「はい」を選択すると、ユーザー名とパスワードを除く情報がコピーされます。「いいえ」を選択した場合は、ログインをし直してから新しいユーザー設定を行ってください。「3.5.3　ログイン」35

# 3.5.3　ログイン

ユーザー登録を複数行うか1つでもパスワードを設定すると次回以降、起動時に次の画面が表示されます。

(a) 自分のユーザー名を選択します。

（b）　ユーザー登録時に設定したパスワードを入力します。

**メ　モ**

3.5.2　ユーザー登録／変更画面 34 でパスワードを登録していないユーザーアカウントでは、パスワード入力画面は表示されません。

**お知らせ**

●一度ログインした後にユーザーの選択を変更する場合は、AVCステーションの電源をオフにしてから再度電源をオンにしてください。このとき、機能待機ランプが点灯している場合は、AVCステーション本体の電源ボタンを5秒以上押して機能待機ランプ消灯後、再度電源ボタンを押して再起動してください。

●複数のユーザー登録を行うか、1つでもパスワードを設定した場合は、ログインするまではメールチェック機能 26 は動作しません。

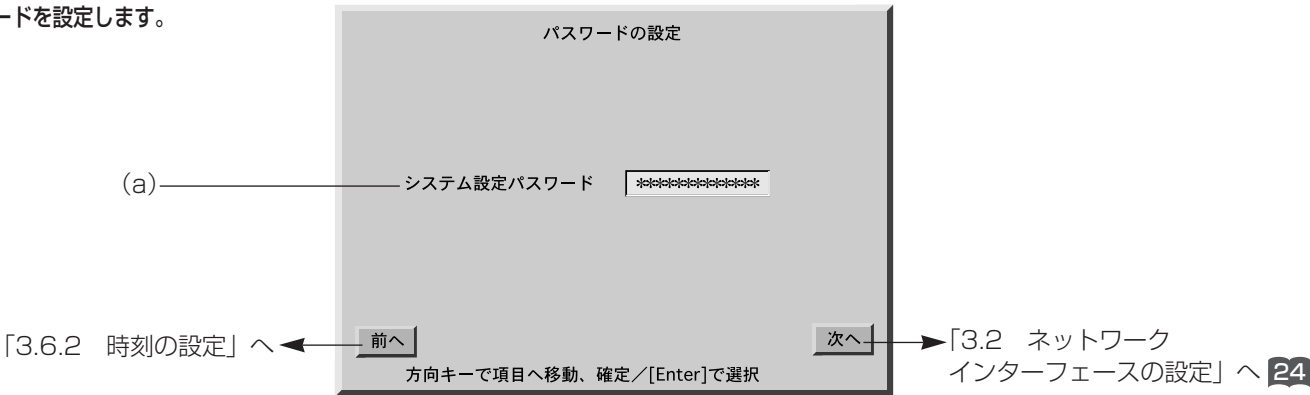
**⚠ 注意**

AVCステーション本体の電源ボタンを5秒以上押して電源を切る場合、お客様の設定された予約状況等に影響がないことをご確認の上操作をしてください。

# ● 3.6 その他の設定 ●

**通常のご使用では、パスワードの設定をする必要はありません。**

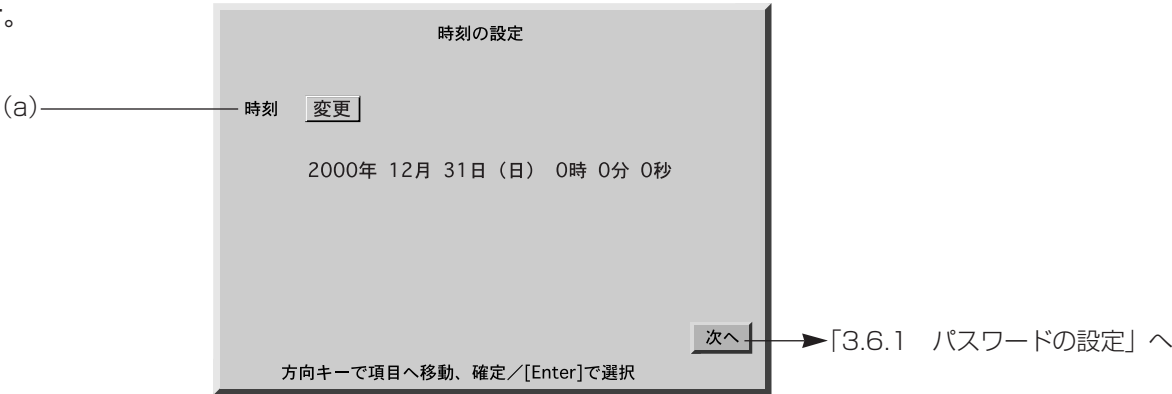
## 3.6.1　パスワードの設定

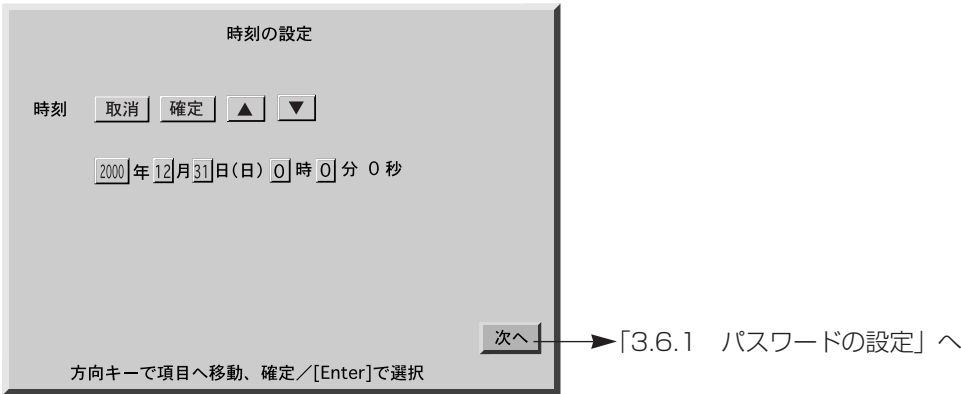
パスワードを設定します。

### システム設定パスワード（a）

ここでパスワードを設定すると、主メニュー画面で「システム設定」を選んだ際は、このパスワードを入力しないとセットアップ画面に移ることができなくなります。
入力した文字は"＊"で表示されます。

何も入力せずにパスワードを設定しないこともできます。
パスワードを設定した場合は、必ず巻末の設定メモ欄にご記入ください。

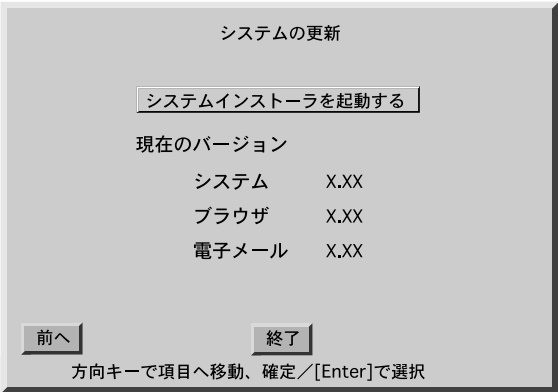
## 3.6.2　時刻の設定

時刻を設定します。

### 時刻（a）

「変更」を選ぶと時刻の変更が行えます。

年、月、日、時、分の数字を選び、さらに「▲」や「▼」を選ぶとその数字を変更できます。
最後に画面上の「確定」を選びます。

# 3.6.3　システムの更新

本機のソフトウエアをバージョンアップする際に使用します。(現在使用中のバージョンの確認ができます。)

「システムインストーラを起動する」を選び、システムインストーラの画面が表示されましたら注意書きをご確認の上バージョンアップを行って下さい。

**お知らせ**

- 図中のX.XXの部分は、現在使用中のバージョンが表示されます。
- システムインストーラの画面で「バージョンアップはユーザー登録が必要です。」と表示されますがユーザー登録をする必要はありません。
- インストールは通常、数分から30分程度の時間がかかります。
- インストールを行う場合、インストール用サーバと回線接続の確認を行います。回線の状況等により、何も画面に表示されない状態が生じる場合があります。数分待って画面が黒いままの場合は、AVCステーションの電源をオフにしてから再度電源ボタンを押して再起動してください。このとき、機能待機ランプが点灯している場合は、AVCステーション本体の電源ボタンを5秒以上押して、機能待機ランプ消灯後、再度電源ボタンを押して再起動を行ってください。
  またインストール画面での操作は、注意書きを確認した上でゆっくりと行ってください。画面に操作指示がでるまでは、リモコンのキーを操作しないでください。

**⚠注意**

- インストール実行中は電源を切ったり通信線を切断したりしないでください。故障の原因となります。
- AVCステーション本体の電源ボタンを5秒以上押して電源を切る場合、お客様の設定された予約状況等に影響がないことをご確認の上操作をしてください。

# ● 3.7 接続テスト ●

(a)

**お知らせ**

ルータタイプのADSLモデムをご使用になる場合は、「3.2　ネットワークインターフェースの設定」24 により、「3.3.1　LANの設定」25 または「3.4.1　ADSLの設定」29 、「ネットワークサービスの設定」25 または 29 、「メールの設定」26 または 30 を設定後、ADSLモデムの取扱説明書をご覧になり、ADSLモデムのルータの設定を行ってください。

システム設定を終了するとブラウザが起動します。

上段メニューの(a) を選んでください。

本機はシステム設定の「ブラウザの設定」27 32 で設定されたインターネットのホームページを表示します。

設定されていない場合は、「BB-TV」が表示されます。

インターネットに接続してホームページが表示されましたら、ネットワークに関する設定は正しく行われていますので、そのままブラウザをお楽しみいただけます。
「4.1　ブラウザ」39

**お知らせ**

●システム設定を終了してブラウザの画面が表示されるまで、画面が黒くなる場合がありますが故障ではありません。システムの再起動を行っていますので数秒〜数十秒程度お待ちください。
●もし、何も表示されない場合は、設定に誤りがあるか、回線が正しく接続されていない可能性があります。画面下部に表示されるエラーメッセージを参考に適切な処置を行って下さい。
「故障かな？と思ったら」75
●本機の電源を入れると設定されたインターネット接続業者に接続を行います。また、TVを見ているときでも、インターネット接続業者への接続は継続しています。
インターネット接続業者との契約内容を十分ご確認の上、ご使用ください。

**メ　モ**

電子メールの設定を行った場合は自分宛てにメールを送信するなどのテストを行ってください。
「4.2〜4.3　電子メール」53 〜 66

# ● 4.1 ブラウザ ●

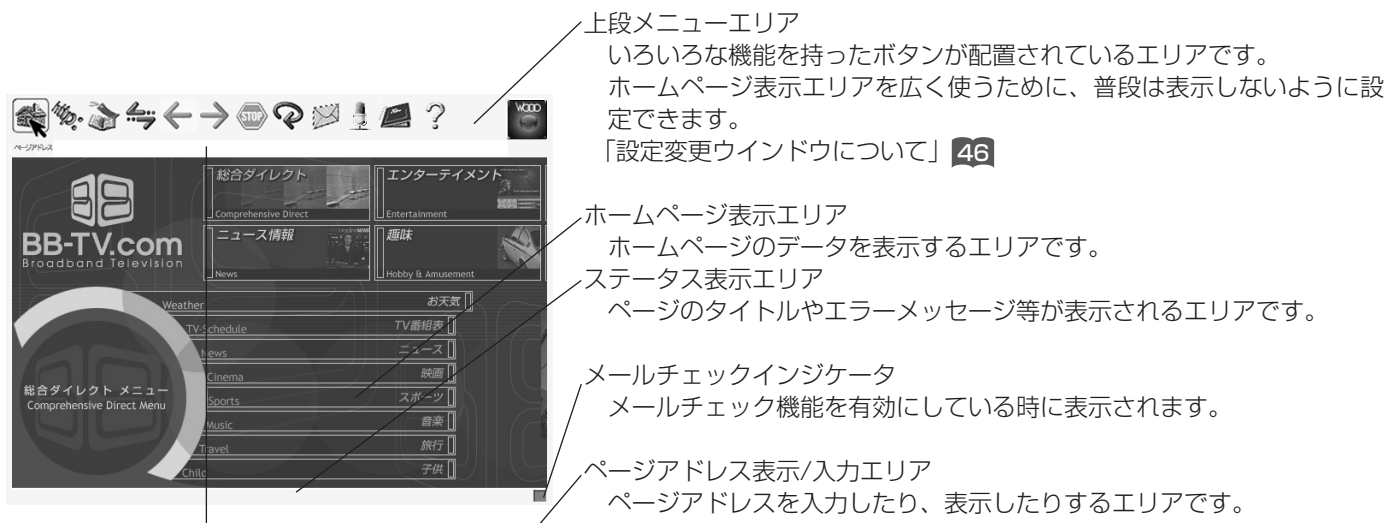
ブラウザはインターネットのホームページを見るための機能です。

上段メニューエリア
　いろいろな機能を持ったボタンが配置されているエリアです。
　ホームページ表示エリアを広く使うために、普段は表示しないように設定できます。
「設定変更ウインドウについて」46

ホームページ表示エリア
　ホームページのデータを表示するエリアです。

ステータス表示エリア
　ページのタイトルやエラーメッセージ等が表示されるエリアです。

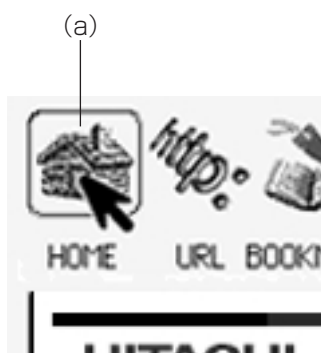
メールチェックインジケータ
　メールチェック機能を有効にしている時に表示されます。

ページアドレス表示/入力エリア
　ページアドレスを入力したり、表示したりするエリアです。

**お知らせ**

●ページアドレス表示/入力エリアは、カーソルが上段メニューエリア上にある時は、表示されません。
●システム設定の「ブラウザの設定」の設定内容によって、表示されるページは異なります。
「ブラウザの設定」27、32

## 4.1.1　ホームページを見るには

### 設定されているインターネットホームページを見るには

(a)

上段メニューの（a）を選びます。

システム設定の「ブラウザの設定」の中の「インターネットホームページ」に設定されているページが表示されます。

**メ　モ**

●リモコンの上段メニューボタンを押すと、カーソルは上段メニューの に移動します。
●システム設定の「ブラウザの設定」の中の「インターネットホームページ」に何も設定されていない場合は、「BB-TV」が表示されます。
「ブラウザの設定」27、32

第4章

## ページアドレス(URL)を指定して見るには

1.上段メニューの （a）を選びます。
　スクリーンキーボードが表示されます。

2.スクリーンキーボードを使用して、ページアドレス表示／入力エリア（b）に見たいページのページアドレス（URL）を入力します。
　入力したホームページが表示されます。

## インターネットナンバーを指定して見るには

ページアドレス表示／入力エリアにページアドレス（URL）を入力するかわりに、インターネットナンバーを指定すると登録されているホームページが表示されます。

**お知らせ**

●インターネットナンバーは、インターネットナンバー株式会社が提供しているサービスです。
　サービスの詳細については、インターネットナンバーサービスのご利用案内(http://www.hatch.co.jp)をご覧ください。
●インターネットナンバーで入力可能な文字は、数字（０～９）とシャープ（#）、アスタリスク（*）です。ハイフン（－）などは使用できませんのでご注意ください。

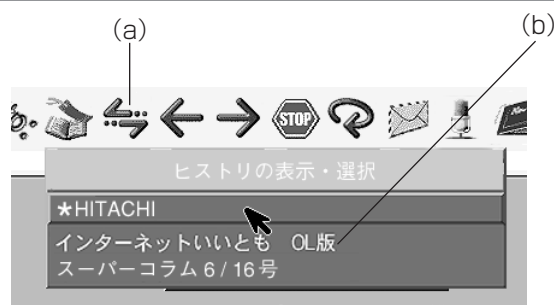
## ブックマーク(BOOKMARK)に登録されているホームページを見るには

1.上段メニューの （a）を選ぶと過去に登録したページ（ブックマーク）の一覧（b）が表示されます。

2.表示されたブックマーク一覧から見たいホームページのタイトル・URLを選びます。
　ブックマーク一覧が消え、選んだホームページが表示されます。

**メ　モ**

ブックマークとは、再び見たいホームページに付けるしおりのこと。ブックマークに再び見たいURLを登録しておくと、次回から簡単にそのページを表示させることができます。
「4.1.3　ブックマークを編集するには」44

## 今まで見てきたホームページを見るには

1.上段メニューの （a）を選びます。
　左のヒストリリスト（b）が表示されます。

2.ヒストリリストから見たいホームページのタイトル・URLを選びます。
　ヒストリリストが消え、選んだホームページが表示されます。

**メ　モ**

ヒストリリストは自動的に作成され、更新されます。ただし、電源を切ると失われます。
「ヒストリ機能について」51

# ひとつ前のページを見るには

上段メニューの を選ぶか、リモコンの1ページ戻るボタンを押すと、ひとつ前にアクセス（接続）したページが表示されます。

この機能は、上段メニューの で前のページを見た後、元のページに戻る時に便利です。

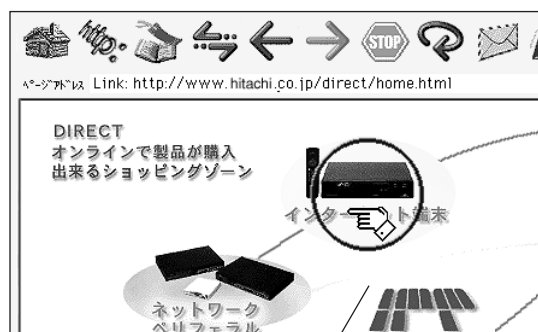
メ モ

ヒストリリストのひとつ上のページが表示されます。

# リンク先のページを見るには

ホームページ表示エリア内で、リンクのフォーカス枠が表示され、 が に変わったところで、リモコンの確定ボタンまたは方向キーを押します。
リンク先がホームページの場合そのページが表示されます。それ以外のデータはデータの形式によって動作が異なります。

## 4.1.2　リンク先のデータについて

**ホームページ表示エリアでカーソルを移動させて、 が に変わった時は、他のページへのリンクが可能なことを示しています。**
**カーソルが の状態でリモコンの確定ボタンまたは方向ボタンを押すとリンク先にアクセスします。リンク先は、ホームページのほか、画像データ・音声データなどの場合があります。**

リンクのフォーカスイメージ

メ モ

●ホームページ上で、 が に変わった時に、リモコンの確定ボタンまたは方向ボタンを押して別のページが表示されたり音声が流れたり、ほかのデータにアクセス（接続）することをリンクするといいます。
●リモコンのジャンプボタンの機能が「リンク▲▼」に設定されていれば、リモコンのジャンプボタンを押すたびに、ページ上にあるリンク可能な位置にカーソルが移動します。
「キャッシュ／カーソル／クッキーの設定」47

●リンク先がホームページや画像データの場合
カーソル が に変わった時、ページアドレス表示/入力エリアの表示が次のようになります。

### ホームページ

Link: http://www.abc.or.jp/index.**html**　（HTML書式のテキストデータ）
Link: http://www.abc.or.jp/link.**htm**　（HTML書式のテキストデータ）
Link: https://www.abc.or.jp/shop.**html**　（HTML書式のテキストデータ）
Link: https://www.abc.or.jp/order.**htm**　（HTML書式のテキストデータ）
データを暗号化してやりとりするSSLに対応したページへのリンクは、httpがhttpsとなります。

### 画像データ

Link: http://www.abc.or.jp/image.**gif**　（GIF形式の画像データ）
Link: http://www.abc.or.jp/photo.**jpg**　（JPEG形式の画像データ）
Link: http://www.abc.or.jp/image.**png**　（PNG形式の画像データ）
アクセスすると、ページアドレス表示/入力エリアに表示されていたホームページや画像データが表示されます。

# 4.1.2　リンク先のデータについて(つづき)

●リンク先が動画データや音声データの場合

カーソルが に変わった時、ページアドレス表示/入力エリアの表示が次のようになります。

## 動画データ

Link: http://www.abc.or.jp/movie.rm　（Real Playerの動画データ）
Link: http://www.abc.or.jp/movie.ram　（Real Playerの動画データ）

## 音声データ

Link: http://www.abc.or.jp/sound.au　（AU形式の音声データ）
Link: http://www.abc.or.jp/voice.wav　（WAVE形式の音声データ）
Link: http://www.abc.or.jp/music.aif　（AIFF形式の音声データ）

Real Playerの場合は、Real Playerウィンドウが表示され、データを読み込みながら再生します。
「Real Playerウィンドウについて」43
また、音声データは、データを全て読み込んだ後にJCC Audio Playerウインドウが表示され、データを受け取りながら再生します。
「JCC Audio Player ウインドウについて」43

●リンク先が電子メールアドレスの場合

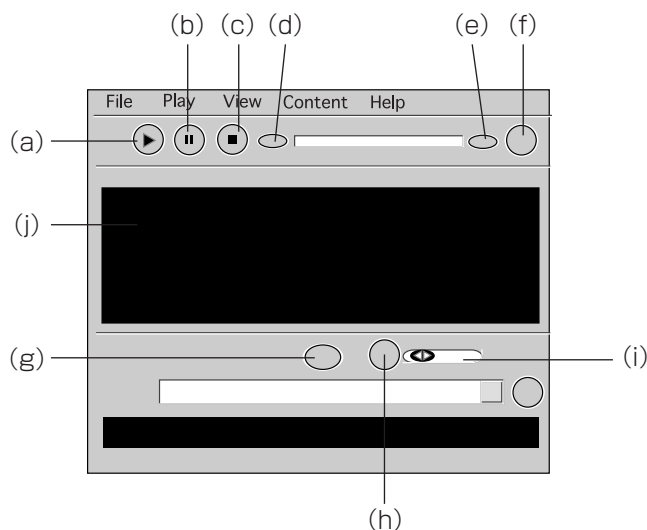
カーソルが に変わった時、ページアドレス表示/入力エリアの表示が次のようになります。

Link: mailto: info@abc.or.jp　（送信先の電子メールアドレス）
確定ボタンを押すと「メールの作成と送信」画面になります。本文を入力して送信します。
送信後、画面上段の「ブラウザ」を選ぶとブラウザに戻ります。
「4.3　電子メール　～メールを送る」58

**お知らせ**

●リンク先のデータ形式によっては、表示または再生できないものがあります。
●読み込むデータの容量が大きい場合、表示または再生されるまでに時間がかかることがあります。
●音声データを選ぶ前に、テレビの音量を確認してください。
「4.1.4　ブラウザの利用環境を変更するには」46

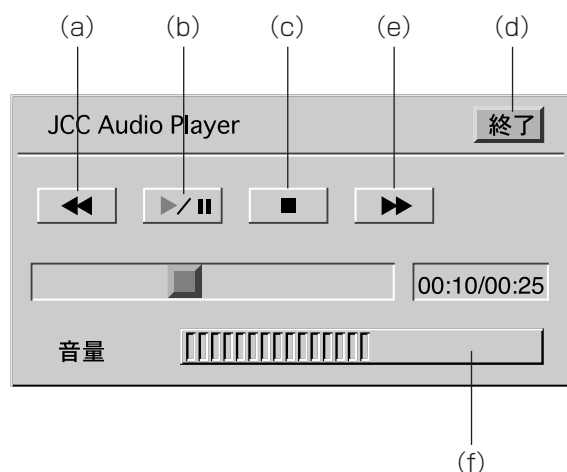
# RealPlayer ウインドウについて

RealVideoやRealAudioのデータにアクセスすると数秒後にRealPlayer ウインドウが表示され、データを読み込みながら、再生していきます。

**再生(a)**
**一時停止ボタン(b)**
**停止ボタン(c)**
**巻き戻しボタン(d)**
**早送りボタン(e)**
**モード変換ボタン(f)**
ノーマルモードとコンパクトモードを切り換えます。
**ズームボタン(g)**
**消音ボタン(h)**
音声を消します。
**音量調節スライダー(i)**
ゲージの上にカーソルを移動し確定ボタンまたは方向キーを押すと音量が変わります。
**映像エリア(j)**
RealVideoの映像を表示します

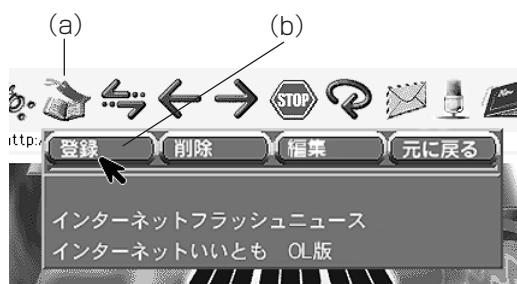
**お知らせ**

- Real Playerの上段メニュー(File/Play/View/Content/Help)は、使用できない項目があります。Real Playerの操作は(a)～(i)で行ってください。
- Real Playerウィンドウの表示をやめてブラウザ画面に戻る場合は、カーソルをReal Playerウィンドウの外に持っていき、リモコンの「取消」ボタンを押してください。
- 接続環境の状態や読み込むデータの容量が大きい場合は、正常に再生されない場合があります。

# JCC Audio Player ウインドウについて

AU、WAVE、AIFFの各フォーマットの音声データにアクセスするとデータ読み込み後にJCC Audio Player ウインドウが表示され、音声を再生していきます。ウインドウの操作によって早送りや巻き戻しなども可能です。

**巻き戻しボタン(a)**
**再生／一時停止ボタン(b)**
**停止ボタン(c)**
**「終了」(d)**
JCC Audio Playerウインドウを終了します。
**早送りボタン(e)**
**音量調節スライダー(f)**
ゲージの上にカーソルを移動し確定ボタンまたは方向キーを押すと音量が変わります。

# 4.1.3　ブックマークを編集するには

## ブックマークに登録するには(ページが表示されている場合)

1.ブックマークに登録したいホームページが表示されている状態で、上段メニューの （a）を選び、ブックマーク一覧を表示させます。

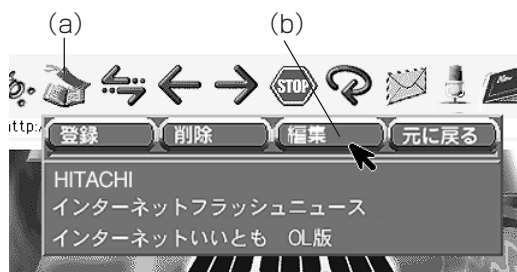
2.ブックマーク一覧の中の「登録」（b）を選びます。
表示されているホームページがブックマークに登録されブックマーク一覧が消えます。

**メ　モ**

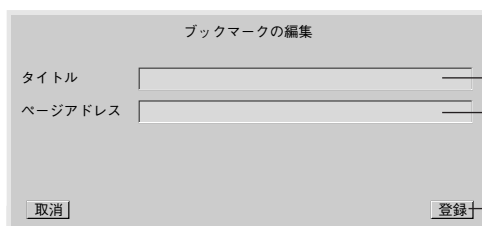
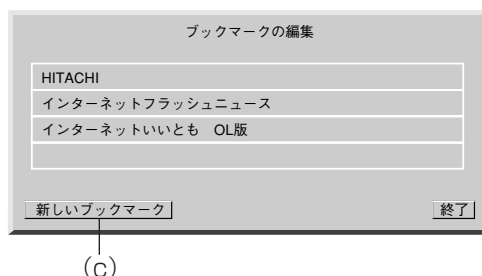
●リモコンの上段メニューボタンを押すと、カーソルが上段メニューに移動します。
●ブックマーク一覧が表示されている状態で、ブックマーク一覧の中の「元に戻る」を選ぶ、またはリモコンの取消ボタンを押すと、ブックマーク一覧が消えます。

**お知らせ**

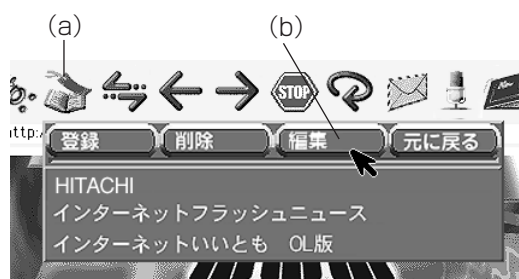
●ブックマーク一覧では、ホームページのタイトルを表示します。タイトルがないホームページについては、URLを表示します。
●ブックマークに登録できるタイトル数はおよそ30タイトルです。(タイトルおよびURLの文字数によって登録数は変わります。)登録がいっぱいになった場合には、不要なタイトルを削除して、再度登録してください。

## ブックマークに登録するには(URLがわかっている場合)

1.上段メニューの （a）を選んでブックマーク一覧を表示させます。

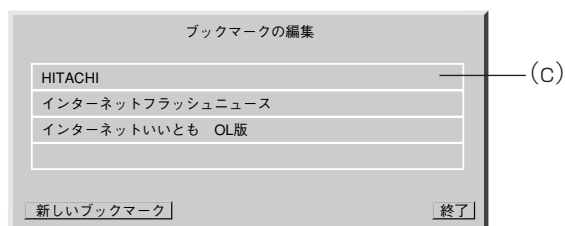
2.ブックマーク一覧の中の「編集」（b）を選びます。

3.「ブックマークの編集」ウインドウが表示されますので、「新しいブックマーク」(c)を選びます。

4.表示されたウインドウ内のタイトル(d)とページアドレス(e)に登録したいページの適当なタイトルと正確なURLをそれぞれ入力し、「登録」(f)を選びます。

5.「ブックマークの編集」ウインドウの「終了」を選びます。

# ブックマークを変更するには(URLがわかっている場合)

1.上段メニューの （a）を選んでブックマーク一覧を表示させます。

2.ブックマーク一覧の中の「編集」（b）を選びます。

3.「ブックマークの編集」ウインドウが表示されますので変更したいブックマークのタイトル(c)を選びます。

4.表示されたウインドウ内のタイトル(d)とページアドレス(e)を変更し、「登録」(f)を選びます。

5.「ブックマークの編集」ウインドウの「終了」を選びます。

# ブックマークから削除するには



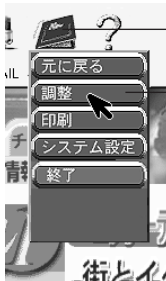
1.上段メニューの （a）を選びブックマーク一覧を表示させ、「削除」（b）を選びます。

2.削除したいURL・タイトルをブックマーク一覧から選びます。

3.「元に戻る」を選ぶとブックマーク一覧が消えます。

# 4.1.4　ブラウザの利用環境を変更するには

**ブラウザの画面上で音量、画像の表示／非表示、フォントサイズ等の設定変更を行うことができます。 設定の変更は、設定変更ウインドウで行います。**

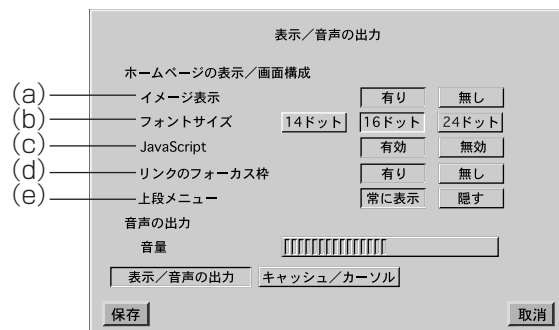
## 設定変更ウインドウを表示させるには

(a)
(b)

1.上段メニューの　（a）を選びます。

2.出てきたボタンの中から「調整」（b）を選ぶと設定変更ウインドウが表示されます。

## 設定変更ウインドウについて

### ●表示／音声の出力の設定変更

(a)
(b)
(c)
(d)
(e)

### イメージ表示（a）

画像データの表示／非表示を変更します。
「無し」を選んだ場合、本来画像が表示される位置に、が表示されます。

### フォントサイズ（b）

表示するフォントのサイズを変更します。

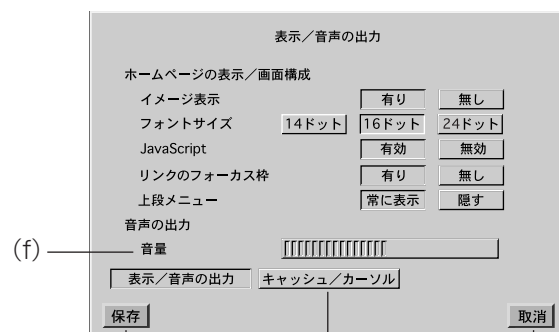
### JavaScript（c）

JavaScriptの有効／無効を変更します。

### リンクのフォーカス枠（d）

リンクのフォーカス枠の表示／非表示を変更します。

### 上段メニュー（e）

上段メニューの表示／非表示の切替を可能にする場合、「隠す」を選びます。この設定の場合、リモコンの上段メニューボタンを押すと上段メニューを表示させることができます。また、表示された上段メニューは新たにページが読込まれるか、リモコンの1ページ戻るボタンまたは再度上段メニューボタンが押されると非表示になります。

(f)
(i)　(g)　(h)

### 音量（f）

音量を変更します。
バーの上にカーソルを移動してリモコンの確定ボタンまたは方向キーを押すと、変更できます。

### 「キャッシュ／カーソル」（g）

キャッシュ／カーソル／クッキーの設定変更画面に移ります。

### 「取消」（h）

変更した内容を取り消して設定変更ウインドウを消します。

### 「保存」（i）

変更した内容を保存して設定変更ウインドウを消します。

**メ　モ**

●イメージの非表示設定は、無用なイメージデータを読み込んでアクセスを遅くしたくない場合などに有効です。
●音量・イメージ表示・フォントサイズの変更は、新たにページが読み込まれた時に変更が反映されます。

**お知らせ**

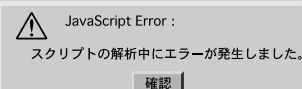
ブラウザ画面やメール画面などの映像を長時間または繰り返し表示させた場合、プラズマパネルが焼き付く場合があります。詳しくはプラズマテレビ本体の取扱説明書をご覧ください。
また、焼き付き防止のため上段メニュー(e)を非表示としてご使用されることを推奨します。

お知らせ

**JavaScriptについて**

●本機はJavaScript Version 1.5に対応しています。但し、以下のオブジェクト、プロパティ等は未サポートです。

OBJECT
　Applet、FileUpload
FUNCTION
　taint 、untaint
PROPERTY
　applets
EVENT HANDLER
　onAbort、onError

●読み込んだHTMLデータに未サポートのJavaScript機能が使用されている場合、または、エラーが発生した場合図のようなウインドウを表示します。JavaScriptを「無効」にして再度読み込んでください。

## ●キャッシュ／カーソル／クッキーの設定変更

### キャッシュ（a）

キャッシュを読み込む際に行う文書の確認のタイミングを変更します。
「3.3.6　ブラウザの設定」27

### カーソル速度（b）

カーソルの速さを変更できます。

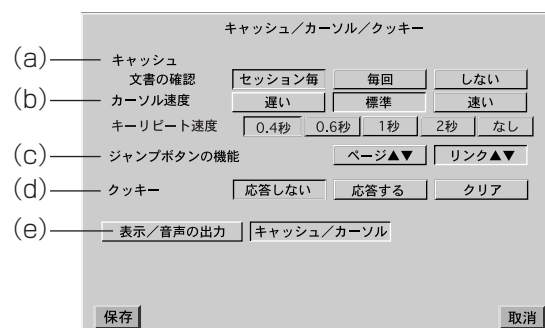
### ジャンプボタンの機能（c）

リモコンのジャンプボタンの機能を、リンク可能な位置にカーソルを移動させる機能から、ページスクロール機能に変更できます。

### クッキー（d）

サーバから送られてくるクッキーを受け付けない場合は、「応答しない」を選びます。
「クリア」を選ぶと、本機が保存しているクッキーを消去します。

### 表示／音声の出力（e）

表示／音声の出力の設定変更画面に移ります。

# 4.1.5　ブラウザを終了するには

## ブラウザを終了して電子メールを使うには

上段メニューの を選びます。
「4.2　電子メール　～受け取ったメールを見る」53

# 4.1.6　便利な機能

## ホームページの読み込みを中止するには

上段メニューの を選ぶとデータの読み込みが中止されます。

メ　モ

リモコンの上段メニューボタンを押すと、カーソルが上段メニューの に移動します。

お知らせ

内部的な処理の状況により、中止の操作をしても、読み込みを中止するのに数秒かかることがあります。

## もう一度データを読み込むには

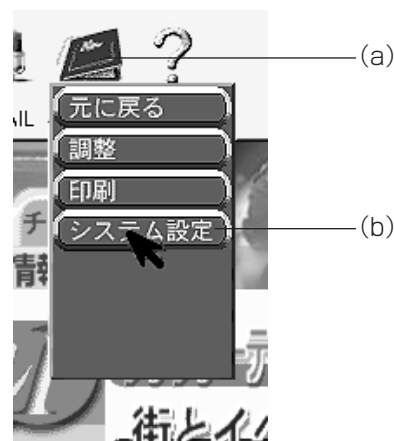
上段メニューの を選びます。

サーバにアクセスして現在表示しているページを再度読み込みます。

お知らせ

ホームページのデータを最後まで読み込んでいなかった場合や画面上の表示が完全に行なわれなかった場合などに有効です。

# システム設定を行うには

上段メニューの（a）を選んで出てくるボタンの中から「システム設定」（b）を選びます。
セットアップ画面が表示されます。
「3.2　ネットワークインターフェースの設定」24

# 画面スクロールをするには

**カーソルを移動させないで画面スクロールを行うことができます。**
**「画面やリストなどをスクロールするには」18**

1.ホームページ表示エリアにカーソル（）がある状態でリモコンのスクロール切替ボタンを押します。

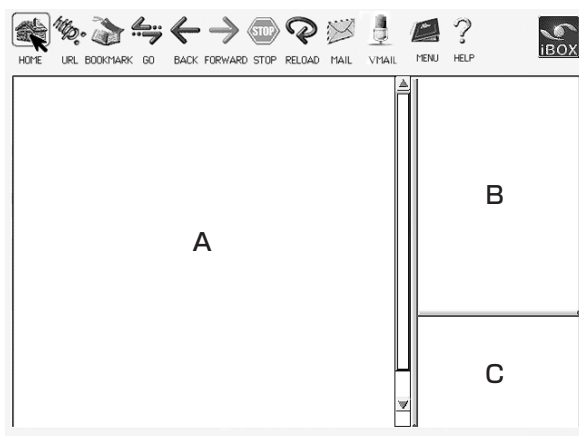
2.カーソルがに変わります。
3.リモコンの方向キーを動かすと、カーソルの位置は変わらず、画面のみがスクロールします。

もう一度リモコンのスクロール切替ボタンを押すと、元の状態に戻ります。

**メ　モ**

ブラウザの調整で、ジャンプボタンの機能を「ページ▲／▼」に設定している場合、リモコンのジャンプボタン（▲／▼）を押すと1画面分上下にスクロールします。

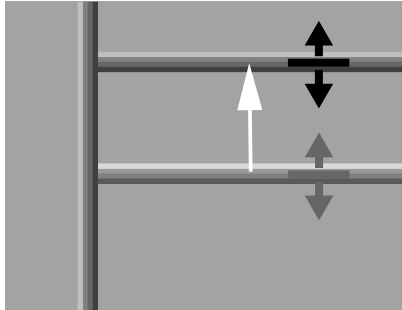
# フレーム機能について

**本機は、複数のページを1つの画面に分割して同時に表示するフレーム機能に対応しています。**
**下の図では、A,B,Cのページを1つの画面上に表示します。**

**お知らせ**

各フレーム内の画面をスクロールさせる場合、スクロールさせたい画面を、リモコンの確定ボタンまたは方向キーで選んでから、操作して下さい。

第4章

# フレームの表示サイズを変更するには

**画面が分割されて表示されていると、1つの画面（フレーム）に表示できるデータ量が少なくなります。**
**本機では、フレームの大きさを変えることによって、自分が見たいフレームを大きくして見やすくすることができます。**

1.画面の分割枠に重なるようにカーソルを移動します。
2.カーソル（ ）が変更カーソル や に変わった状態でリモコンの確定ボタンまたは方向キーを押します。
変更カーソルが や のように大きくなります。
3.変更カーソルが大きくなっている状態で、リモコンの方向キーを使用して、分割枠を移動します。
4.リモコンの確定ボタンまたは方向キーを押して、位置を決めます。

お知らせ

フレーム機能の分割枠の移動に関しては、送信されてくるデータによっては、分割枠の移動を禁止している場合があります。その場合には分割枠の移動はできません。

# 画面をズームさせるには

リモコンのズームボタンを押すと、現在画面上にあるカーソルの位置を中心に、拡大表示され、もう一度押すと、標準の状態に戻ります。

お知らせ

ズームされている時、上段メニューのボタンやスクロールバー、ホームページ表示エリアの中のリンク先等を、選ぶことはできません。

# ヒストリ機能について

**本機は、電源を切るまでは、ブラウザで表示させたホームページのページアドレスを内部に保持していますので、それまでにアクセスしたホームページを簡単に表示させることができます。**

●上段メニューの （a）を選んだときに表示されるヒストリリストは最新の12件のページアドレスを表示します。
●新しくホームページを表示させるとリストの最上段にそのホームページのタイトルまたはページアドレスが表示されリストの最下段にあったホームページのタイトルまたはページアドレスが表示されなくなります。
●上段メニューの （b）を選ぶとヒストリに沿ってそれまでに表示させてきたホームページを表示させることができます。

ヒストリリスト中に＊が付いているページが現在表示されているページです。

## ●ヒストリの更新

ヒストリリストは、以下のような操作をした場合には、自動的に更新されます。

現在、ヒストリリストの中にある上から3番目の「Link Page by Hitachi」というホームページが表示されているとします。

1.新しくページアドレスを入力して、 http://www.hitachi.co.jp/（タイトル：HITACHI）を表示させます。

2.ヒストリリストの上から2番目までが削除され、「HITACHI」が最上段に表示されます。

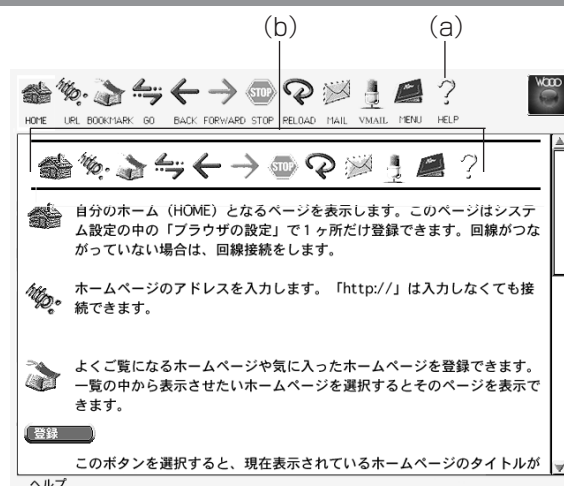
**お知らせ**

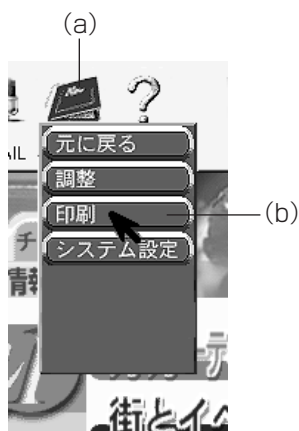
●ヒストリリストを手動で変更することはできません。
●リモコンの取消ボタンを押すとヒストリリストの表示が消えます。

# ヘルプを使用するには

上段メニューの（a）を選ぶと、ホームページ表示エリアに上段メニューの各ボタンの意味や使用方法が表示されます。
ホームページ表示エリアの上部の各上段メニュー（b）のボタンを選ぶと、そのボタンの説明の部分に移動します。

**メ　モ**

他のホームページにアクセスすることによってヘルプは終了します。
「4.1.1　ホームページを見るには」39

# オプション機能

**本機にプリンタを接続することにより、表示されているホームページを印刷することができます。**

これらの機能は、上段メニューの（a）を押して出てくるメニューの中から選ぶことができます。

- 「印刷」（b）を選ぶと、印刷用のウインドウが表示され、プリンタで印刷することができます。
「5.1　印刷　～プリンタ」67

# 4.1.7　その他留意点

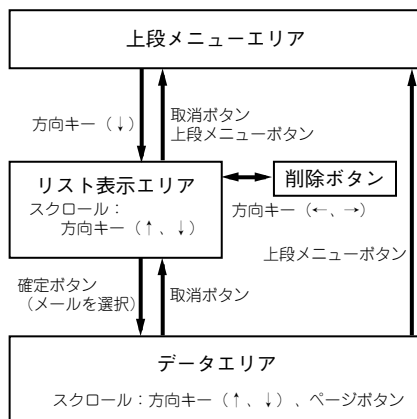
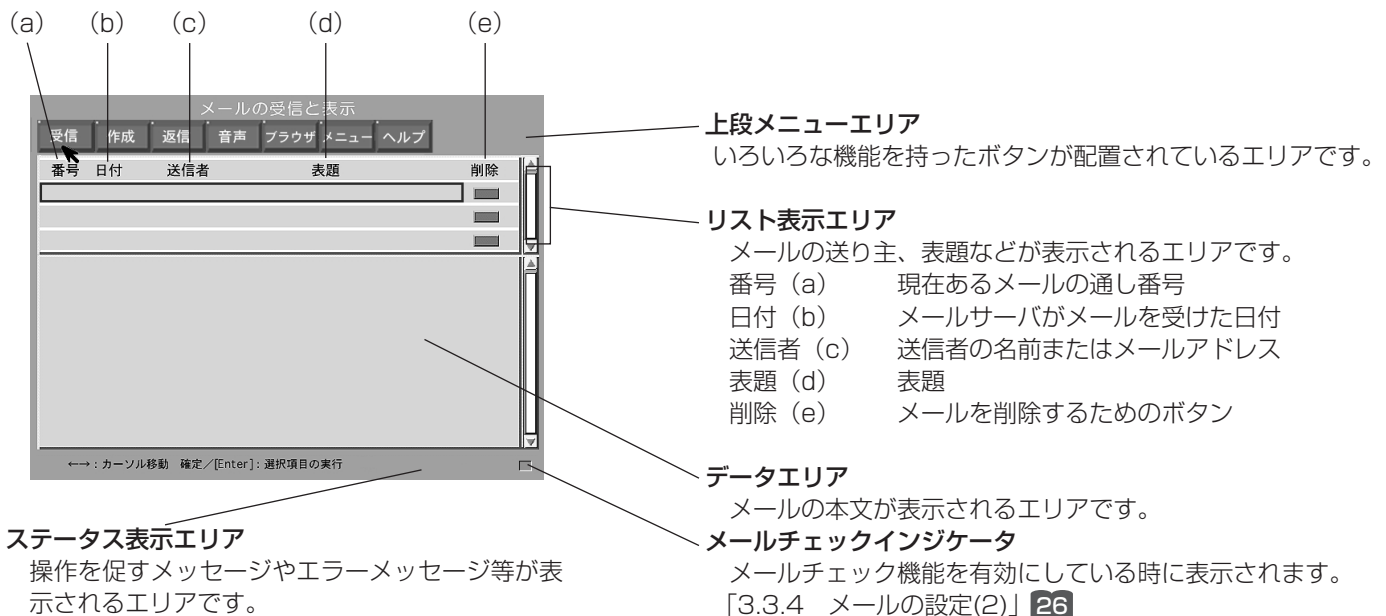
# ホームページのアクセス・表示に失敗した時など

インターネット上では無数のコンピュータが動いています。それらのコンピュータはそれぞれ、所有する団体・個人によって管理されていますので、動いていなかったり、何らかの理由で動作が遅いときがあります。また、回線が遅くなっていることもあります。そのような時にアクセスしても、データが全て収録される前にデータの転送が終了したり、アクセスに失敗したりすることがあります。その場合には、ページアドレスを確認後、時間をおいてアクセスしてみてください。

**お知らせ**

ホームページによっては映像、文字等が正しく表示されない、または機能が正しく動作しない場合があります。メッセージが表示された場合には、「付録　メッセージ表示一覧」78をご覧ください。

# ● 4.2 電子メール ～受け取ったメールを見る ●

ブラウザ画面の上段メニューにある　または、「メールの作成と送信」画面の上段メニューにある「受信」を選ぶと「メールの受信と表示」画面が表示されます。

「メールの受信と表示」画面を表示させた時、カーソルは、ジャンプ移動する状態になっています。
カーソルの移動がジャンプ移動の状態になっている時の各エリアとリモコンのボタンの関係は左のようになります。

第4章

**お知らせ**

- ●カーソルを連続移動させたい場合は、リモコンのスクロール切替ボタンを押します。ジャンプ移動に戻したい場合には、もう一度スクロール切替ボタンを押します。
- ●カーソルが連続移動の場合、上段メニューボタンを押す度に、上段メニューエリアとデータエリアをカーソルが移動します。また、取消ボタンを押すと、現在カーソルがあるエリアのひとつ上のエリアにカーソルが移動します。
- ●本機にはメールの保存機能はありません。
  受信したメールはインターネット接続業者等のメールサーバ( 26 または 30 )に保存されていますが、重要な情報等についてはメモをとるか、印刷 67 しておくことをおすすめします。

# 4.2.1　受け取ったメールを見るには

**1.メールリストの表示と選択**

上段メニューの「受信」(a) を選びます。
メールサーバに接続してメールの情報を読み込み、情報がリスト表示エリア (b) に表示されます。
リモコンの方向キーでリストをスクロールさせ、読みたいメールを選びます。

**2.メールの表示**

カーソルがデータエリアに移動し、データエリア (c) に選択したメールの内容が表示されます。
メールの内容がデータエリアに入りきらない場合は、リモコンの方向キーやジャンプボタンでスクロールさせることができます。

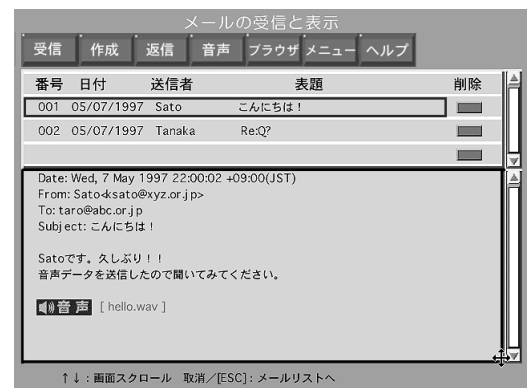
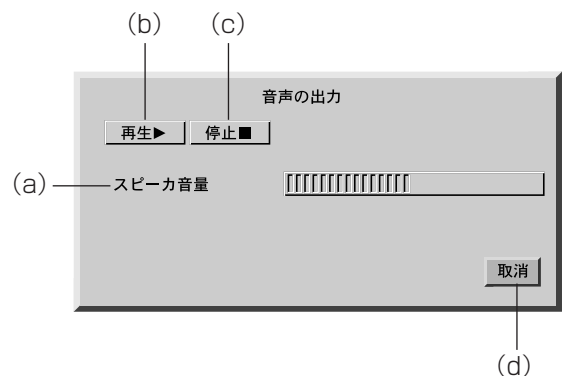
**3.他のメールを見る**

リモコンの取消ボタンを押します。
カーソルがリスト表示エリア (b) に戻りますので他のメールを選びます。

**メ モ**

いったんメールリストを表示した後に、最新のメールリストを表示する場合は、上段「メニュー」の「更新」を選択してください。「4.2.3　便利な機能」55

## メールに挿入された音声データを再生するには

受け取った電子メールの中に音声データが挿入されている場合、文中に 音声 と共に緑色の文字でファイル名が表示されています。

1.カーソルを連続移動できる状態にして、音声 の上にカーソルを移動し、確定ボタンまたは方向キーを押します。
2. 音声の出力ウインドウが表示されます。
スピーカ音量 (a) の音量バーで音量を決めます。
3.「再生」(b) を選びます。音声が再生されます。中断させたい場合は、「停止」(c) を選びます。
4. 「取消」(d) を選ぶかリモコンの取消ボタンを押すと、音声の出力ウインドウが消えます。

**お知らせ**

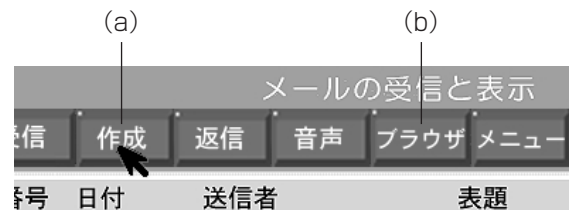
●カーソルの移動がジャンプ移動の場合、音声 の位置までカーソルを移動させることができませんので、リモコンのスクロール切替ボタンを押して、カーソルを連続移動できるようにしてください。
●パソコン等で作成されたメールに添付されたアプリケーションデータは、対応できないものがあります。
本メールに対応したファイル形式は、GIF、JPEG形式の画像データおよびWAV、AV形式の音声データとなります。

# 4.2.2　「メールの受信と表示」を終了するには

## 「メールの作成と送信」画面を表示するには

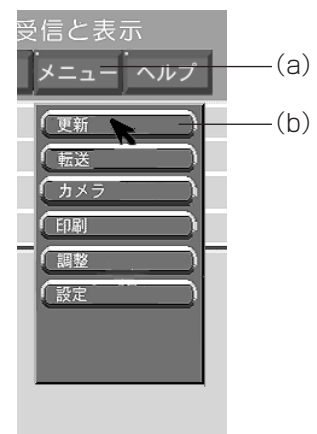
上段メニューの「作成」(a) を選びます。

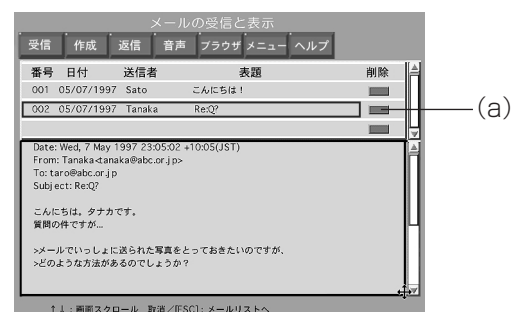
## 「ブラウザ」画面を表示するには

上段メニューの「ブラウザ」(b) を選びます。

# 4.2.3　便利な機能

## 最新のメールリストを読み込むには

上段メニューの「メニュー」(a) を選んで表示されるメニューの「更新」(b) を選びます。
メールサーバにアクセスして、新しいメールが届いていれば、リストに追加します。

第4章

## メールを削除するには

リスト表示エリアの中 で、削除したいメールの右端の「削除」ボタン (a) を選びます。

# 受け取ったメールを転送するには

対象のメールがメールリストで選ばれている状態で、上段メニューの「メニュー」を選んで表示されるメニューから「転送」を選びます。
内容が"-------Forwarded Message"と"-------End of Forwarded"の2行に挟まれ、タイトルに"FW:"がついた形で「メールの作成と送信」画面に移りますので、あて先を入力して送信します。

# 本文中のメールアドレスに送信するには

1.カーソルを連続移動できる状態にして、メールの本文中に記載されているメールアドレスの文字の上にカーソルを移動し、確定ボタンまたは方向キーを押します。
2.「メールの作成と送信」画面が表示され、選んだメールアドレスがあて先に設定されますので、タイトルと本文を入力して送信します。

**お知らせ**

カーソルの移動がジャンプ移動の場合、本文中の文字にカーソルを移動させることができませんので、リモコンのスクロール切替ボタンを押して、カーソルを連続移動できるようにしてください。

# 本文中のホームページを見るには

1.カーソルを連続移動できる状態にして、メールの本文中に記載されているホームページのURLの上にカーソルを移動し、確定ボタンまたは方向キーを押します。
2.ブラウザが起動し、選んだURLのページにアクセスします。

**お知らせ**

カーソルの移動がジャンプ移動の場合、本文中の文字にカーソルを移動させることができませんので、リモコンのスクロール切替ボタンを押して、カーソルを連続移動できるようにしてください。

# 受け取ったメールに対して返信を行うには

1.対象のメールがメールリストで選ばれている状態で、上段メニューの「返信」を選びます。
2.元のメールの内容を引用しますか？のウインドウが表示されます。

元のメールを引用しますか？
引用する
引用しない
返信を中止する

**「引用する」**

「メールの作成と送信」画面に移り、本文の各行先頭に">"が行頭についた引用文が入力されます。
これを編集して送信します。「4.3　電子メール　～メールを送る」58
あて先には元のメールの送信者のアドレスが、表題には元メールの表題に返信であることを意味する"Re:"がついたものが自動的に設定されます。

**「引用しない」**

「メールの作成と送信」画面に移り、あて先には元のメールの送信者のアドレスが、表題には元のメールの表題に返信であることを意味する"Re:"がついたものが自動的に設定されます。
本文を入力して送信します。「4.3　電子メール　～メールを送る」58

**「返信を中止する」**

元のメールの内容を引用しますか？のウインドウが消え、引き続きメールを見ることができます。

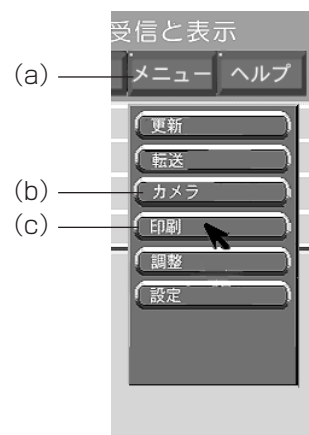
引用された本文

**お知らせ**

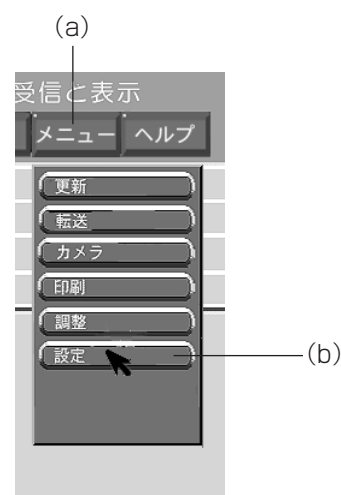
●送られてきたメールの中に特別な設定がされている場合、メール返信時のあて先が、本来のメールの送信者にならないことがあります。
●元のメールの中に画像データや音声データが含まれる場合、引用の中には、画像データや音声データが存在していたという文字列は表示されますが、それぞれのデータは挿入されません。

# オプション機能

本機にプリンタやデジタルカメラなどを接続することにより、メールの印刷やオリジナル画像の送信ができるようになります。
これらの機能は、上段メニューの「メニュー」(a) の中から選んで使用することができます。

- 「カメラ」(b) を選ぶとデジタルカメラで撮影した画像データをメールに貼ることができます。「5.2　画像入力　～デジタルカメラ」69
- 「印刷」(c) を選ぶとメールを印刷することができます。「5.1　印刷　～プリンタ」67

# システム設定を行うには

上段メニューの「メニュー」(a) を選んで表示されるメニューの「設定」(b) を選びます。
セットアップ画面が表示されます。
リモコンの取消ボタンで元に戻ることができます。「3.2　ネットワークインターフェースの設定」24

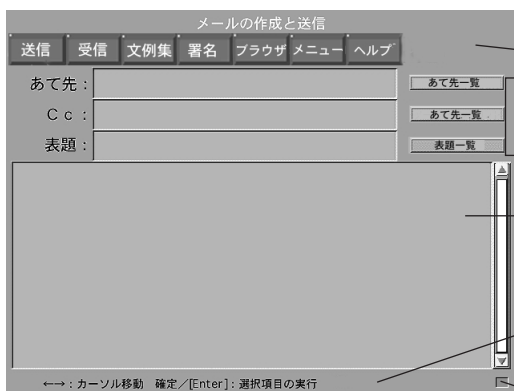
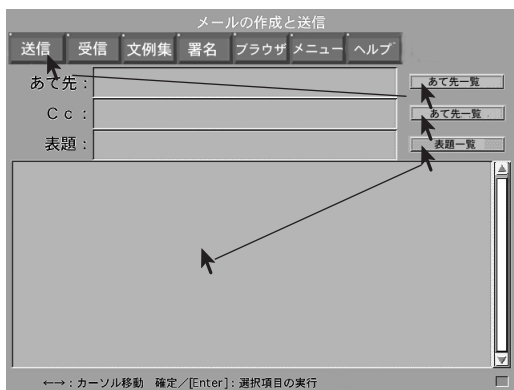
第4章

# ヘルプを使用するには

上段メニューの「ヘルプ」を選ぶと、メールの作成・送信のしかたや、メールをより使いやすくするための情報が表示されます。

# ● 4.3 電子メール ～メールを送る ●

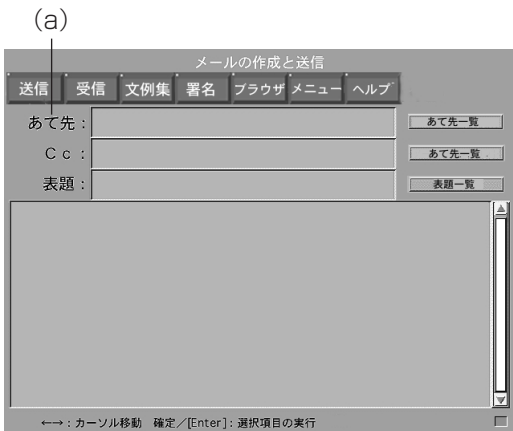
「メールの受信と表示」画面で、上段メニューの「作成」を選ぶと「メールの作成と送信」画面が表示されます。

**メ モ**

ブラウザで"mailto:"のリンクを選んだときも表示されます。ただし、メニューなどは簡略化されています。

「メールの作成と送信」画面を表示させた時、カーソルは、ジャンプ移動する状態になっていますので、リモコンの方向キーの上下を押すことによってカーソルを、上段メニューエリア、ヘッダエリアの「あて先」(「あて先一覧」)、「Cc」(「あて先一覧」)、「表題」(「表題一覧」)、データエリアに移動できます。
また、上段メニューへの移動はリモコンの上段メニューボタンや取消ボタンでも行えます。

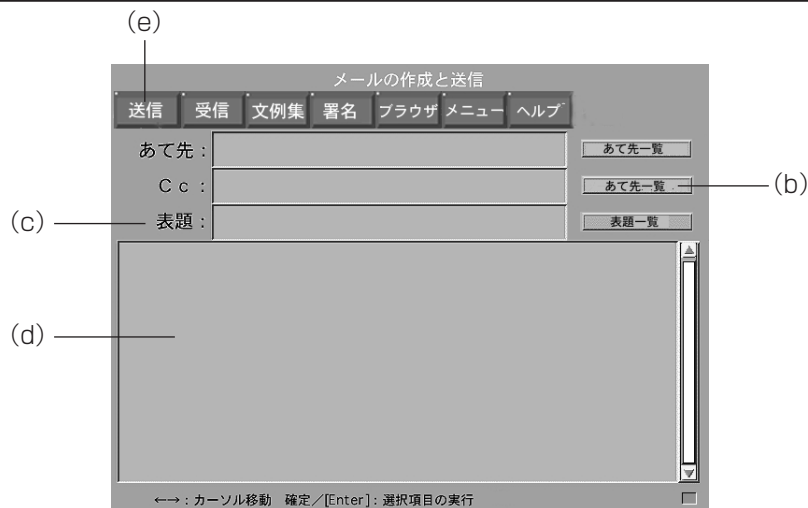
**お知らせ**

カーソルの移動を連続移動にしたい場合は、リモコンのスクロール切替ボタンを押します。さらにその後ジャンプ移動に戻したい場合には、もう一度リモコンのスクロール切替ボタンを押します。

# 4.3.1　電子メールを送るには

**1. あて先の入力**

カーソルをヘッダエリアの「あて先」(a)に移動させ、スクリーンキーボードを表示させます。
あて先のメールアドレスを入力し、最後にスクリーンキーボードの「確定/改行」を選びます。
複数人に送りたい場合は、satoh@abc.co.jp,suzuki@plaza.or.jpの様にメールアドレスをカンマ","で区切って入力します。

**メ　モ**

あて先一覧からあて先を選ぶこともできます。　「4.3.3　あて先一覧を使うには」60

**2.Cc(複写先)の入力**

カーソルが自動的に「Cc」の「あて先一覧」(b)に移動します。
メールの複写を送りたい場合は、メールの複写のあて先を1.と同様に入力します。
複写を送らない場合は何も入力しません。

**メ　モ**

あて先一覧から複写のあて先を選ぶこともできます。　「4.3.3　あて先一覧を使うには」60

**3.表題の入力**

「表題」(c)に移動して、メールの表題を入力します。

**メ　モ**

表題一覧から表題を選ぶこともできます。　「表題一覧を表示させるには」62

**4.メール本文の入力**

表題の入力が終わるとカーソルが自動的にデータエリア(d)に移動し、スクリーンキーボードが表示されます。メールの本文を入力してください。

**メ　モ**

文例集を使って本文を入力することもできます。　「文例集を使用するには」63

**5.メールの送信**

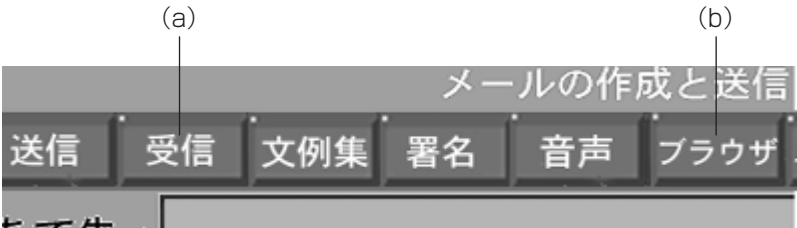
スクリーンキーボードの「終了」を選んで、スクリーンキーボードを消し、上段メニューの「送信」(e)を選びます。

# 4.3.2　「メールの作成と送信」を終了するには

## メールの受信と表示」画面を表示するには

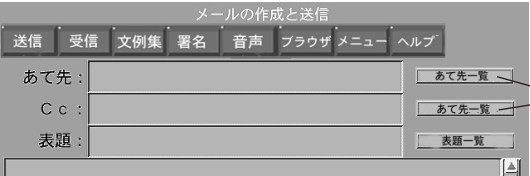
上段メニューの「受信」（a）を選びます。

## ブラウザ」画面を表示するには

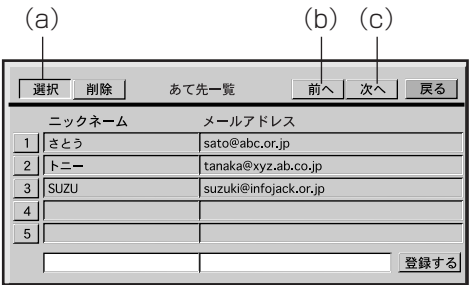
上段メニューの「ブラウザ」（b）を選びます。

# 4.3.3　あて先一覧を使うには

**メールアドレスを30個まで登録することができます。頻繁に使用するメールアドレスを登録しておくことにより、メールアドレスを入力する手間が省けます。**

## あて先一覧を表示させるには

「あて先」または、「Cc」の「あて先一覧」（a）を選びます。

**お知らせ**

リモコンの取消ボタンを押すと、あて先一覧は消えます。

## アドレスを選ぶには

1.あて先一覧を表示させ、「選択」（a）が選ばれていることを確認してください。

2.入力したいメールアドレスの番号を選んでください。
表示されていない番号は「前へ」(b)または、「次へ」(c)で表示します。
番号を選ぶと、あて先一覧が消え、「あて先」または「Cc」に選んだ番号のニックネームとメールアドレスが表示されます。

## アドレスを登録するには

1.あて先一覧を表示させます。

2.下段の入力エリア（a）および(b)にそれぞれ登録したいニックネームとメールアドレスを入力します。

3.「登録する」（c）を選びます。
入力したメールアドレスが登録されます。複数登録する場合は、2と3を繰り返してください。

4.登録が終了したら、「戻る」（d）を選びます。
あて先一覧が消えます。

**お知らせ**

●メールアドレスは、1番から順に登録されていきます。
●登録できるニックネームは、全角入力で12文字もしくは半角入力で24文字以内となります。
●登録できるメールアドレスは、半角入力で62文字以内となります。

## アドレスを削除するには

1.あて先一覧を表示させます。

2.「削除」(a)を選びます。

3.削除したいメールアドレスの番号を選びます。表示されていない番号は「前へ」(b)または「次へ」(c)で表示します。
選んだ番号のメールアドレスが削除されます。複数削除する場合は、3を繰り返してください。

4.削除が終了したら、「戻る」(d)を選びます。
あて先一覧が消えます。



# 4.3.4　便利な機能

## 新規にメールを作成するには

上段メニューの「メニュー」（a）を選んで表示されるメニューの「新規作成」（b）を選びます。

**メ モ**

「メールの作成と送信」画面に表示されていたメールアドレスやメールの本文等を一度に消去できます。新規にメールを作成する場合に有効です。

# 署名を自動挿入させるためには

署名を登録しておくと、その署名を送信するメールの最後に自動的に挿入させることができます。

1.上段メニューの「署名」を選びます。
　署名登録・編集のためのウインドウが表示されます。

2.署名入力エリア（a）に署名を入力します。

3.「登録する」（b）を選びます。
　「閉じる」（c）を選ぶと変更された内容は無効となります。

**メモ**

他のユーザーが使用するなどで署名を挿入したくない場合、「自動挿入しない」（d）を選びます。この時、署名は保存されたままですが、自動挿入はされません。

# 表題一覧を表示させるには

ヘッダエリアの「表題一覧」(a)を選びます。

**お知らせ**

リモコンの取消ボタンを押すと、表題一覧は消えます。

# 表題サンプルを選ぶには

1.表題一覧を表示させます。「選択」(a)が選ばれていることを確認して下さい。

2.入力したい表題サンプルの番号を選んで下さい。
　表示されていない番号は「前へ」(b)または、「次へ」(c)で表示します。
　番号を選ぶと、表題一覧が消え、「表題」エリアに選んだ番号の表題サンプルが表示されます。

# 表題サンプルを登録するには

1.表題一覧を表示させます。

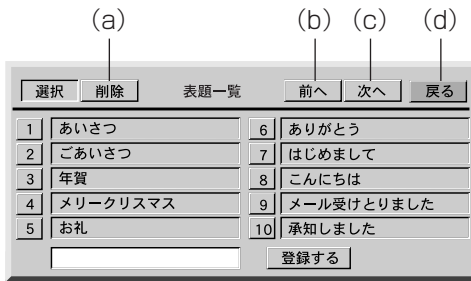
2.下段の入力エリア（a）に登録したい表題を入力します。

3.「登録する」（b）を選びます。
　入力した表題が登録されます。複数登録する場合は、2と3を繰り返してください。

4.登録が終了したら、「戻る」（c）を選びます。
　表題一覧が消えます。

**お知らせ**

●表題一覧へは、21番から順に登録されていきます。
●登録できる表題サンプルは、全角入力で15文字もしくは半角入力で31文字以内となります。

# 表題サンプルを削除するには

1.表題一覧を表示させます。

2.「削除」(a)を選びます。

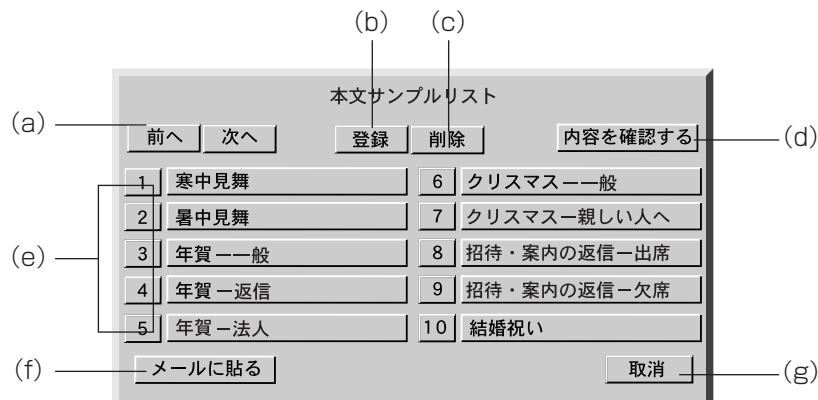
3.削除したい表題サンプルの番号を「前へ」(b)および「次へ」(c)を使って表示し、その番号を選びます。
選んだ番号の表題サンプルが削除されます。複数削除する場合は、3を繰り返してください。

4.削除が終了したら、「戻る」(d)を選びます。
表題一覧が消えます。

**お知らせ**

20番までのあらかじめ登録されている表題サンプルは、削除できません。

# 文例集を使用するには

本機には、本文の入力に使用できるサンプルデータが20個登録されています。必要に応じて使用してください。データとしては、種々の挨拶文などがあります。また、データを登録することもできます。
上段メニューの「文例集」を選ぶと文例集が表示されます。

### 「前へ」「次へ」(a)

データリストのページの移動を行います。

### 「登録」(b)

選んだ番号にデータエリアの内容を本文サンプルとして登録します。
「文例集データを登録するには」64

### 「削除」(c)

選んだ番号の本文サンプルを削除します。
「文例集データを削除するには」65

### 「内容を確認する」(d)

データリストから選んだデータの内容が確認できます。
新しいウインドウが表示され、その中にデータが表示されます。
リモコンの取消ボタンを押すとそのウインドウは消えます。

### データリスト(e)

登録されていないデータは「ユーザ登録1」などの表示になります。

### 「メールに貼る」(f)

選んだ番号の本文サンプルをメールに貼ります。
「文例集データを挿入するには」64

### 「取消」(g)

文例集のウインドウを消します。

# 文例集データを挿入するには

1.文例集ウインドウで挿入するサンプルの番号を選択した後、「メールに貼る」(a)を選びます。

2.確認ウインドウが表示されますので、「OK」(b)を選び、データエリアの挿入したい位置でリモコンの確定ボタンまたは方向キーを押します。
データが挿入されます。

# 文例集データを登録するには

1.あらかじめ、登録したい文章をデータエリアに入力しておきます。
「4.3 電子メール ～メールを送る」58

2.文例集ウインドウを表示して登録する番号（21～30）を選びます。
3.「登録」(a)を選びます。

4.文例の登録ウインドウが表示されますので、タイトル入力エリア(b)に登録するタイトルを設定して「登録」(c)を選びます。

**お知らせ**

●本文の登録ができるのは21番～30番のデータです。
●登録時に、既に登録してあるデータの番号を選んだ場合は上書きされます。
●文例集は、21番～30番の10項目全体で全角入力で約2000文字もしくは半角入力で約4000文字以内の文章を登録することができます。
●登録できる文例集データのタイトルは、全角入力で16文字もしくは半角入力で32文字以内となります。

# 文例集データのタイトルを変更するには

1.文例集ウインドウを表示して変更するデータの番号（21～30）を選びます。

2.「登録」(a)を選びます。

3.文例の登録ウインドウが表示されますので、タイトル入力エリア(b)のタイトルを変更して「タイトル変更」(c)を選びます。

**お知らせ**

タイトルを変更できるのは21番～30番のデータです。

# 文例集データを削除するには

1.文例集ウインドウを表示して削除するデータの番号（21～30）を選びます。

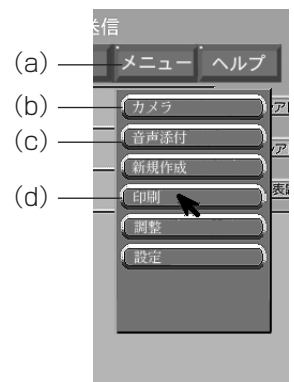
2.「削除」(a)を選びます。
「ユーザ登録1」などの表示にかわります。

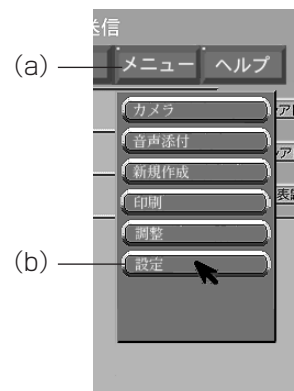
**お知らせ**

削除できるのは21番～30番のデータです。

# オプション機能

本機にプリンタやデジタルカメラ、マイクなどを接続することによりメールの印刷、オリジナル画像や音声の送信ができるようになります。これらの機能は、上段メニューの「メニュー」(a) の中から選ぶことができます。

- 「カメラ」(b) を選ぶとデジタルカメラで撮影した画像データをメールに貼ることができます。
「5.2　画像入力　～デジタルカメラ」69
- 「音声添付」(c) を選ぶと、マイクから入力した音声データをメールに貼ることができます。
「5.3　音声入力　～マイク」72
- 「印刷」(d) を選ぶとメールを印刷することができます。
「5.1　印刷　～プリンタ」67

# システム設定を行うには

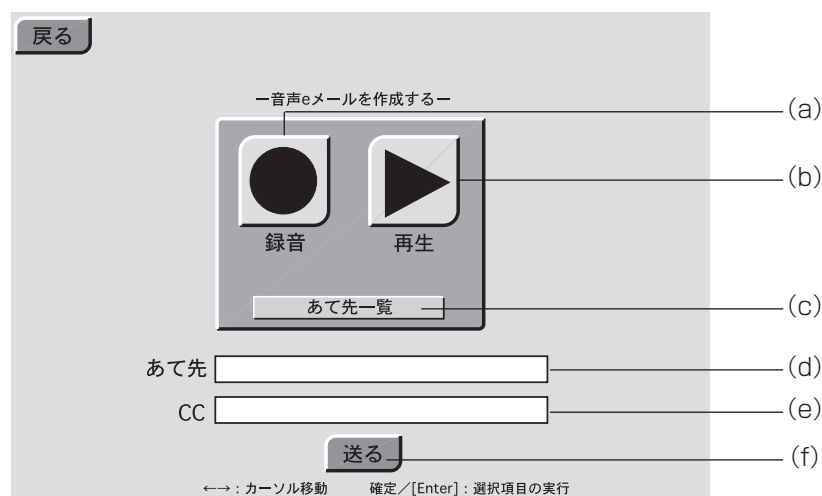
上段メニューの「メニュー」(a) を選んで表示されるメニューの「設定」(b) を選びます。
セットアップ画面が表示されます。
リモコンの取消ボタンで元に戻ることができます。
「3.2　ネットワークインターフェースの設定」24

# ヘルプを使用するには

上段メニューの「ヘルプ」を選ぶと、メールの作成・送信のしかたや、メールをより使いやすくするための情報が表示されます。

# 4.3.5 音声eメール

**本機にマイク（市販品）を接続することにより、音声を電子メールで簡単に送ることができます。**

## 音声eメールを起動するには

本機に以下のいずれかの方法で音声eメールの画面が表示されます。
●リモコンのボイスeメールボタンを押します。
●ブラウザの上段メニューから　を選びます。
●メール画面の上段メニューから「音声」を選びます。

以下の手順で音声を送信できます。

**録音(a)**　音声の録音を開始します。

**再生(b)**　録音した音声を再生します。

**あて先一覧(c)**　電子メール画面でメールアドレスを登録しておくことにより、メールアドレスを入力する手間が省けます。

**あて先(d)**　送り先のメールアドレスを入力します。

**Cc(複写先)(e)**　メールの複写を送りたい場合に、あて先と同様にメールアドレスを入力します。

**送る(f)**　音声eメールを送信します。

**お知らせ**

※ 送り方により(c) (d) (e)は、使用しない場合があります。
※ 送信が完了すると画面が変わります。

# ● 5.1 印刷 ～プリンタ ●

**本機にプリンタを接続すると、画像データや電子メールなどを印刷することができます。(対応機器：74)**

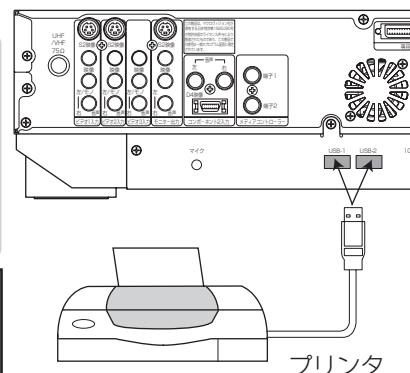
## 5.1.1　プリンタを接続するには

プリンタは、本体背面のUSB-1ポートまたはUSB-2ポートに接続するプリンタに対応したUSBケーブルを用いて接続します。

**お知らせ**

プリンタおよびUSBケーブルを接続する前にAVCステーションの電源をオフにしてください。このとき機能待機ランプが点灯している場合は、再度電源をオンにしてからAVCステーション本体の電源ボタンを5秒以上押して電源を切った状態で、プリンタおよびUSBケーブルを接続してください。プリンタの電源を入れて、その後にAVCステーション本体の電源ボタンを押して電源を入れてください。

**⚠ 注意**

AVCステーション本体の電源ボタンを5秒以上押して電源を切る場合、お客様の設定された予約状況等に影響がないことをご確認の上操作をしてください。

## 5.1.2　データを印刷するには

### 印刷するには

データの印刷は、「プリンタの設定」ウインドウから行ないます。以下の手順で表示させます。

**●ブラウザ**
ブラウザの上段メニューの「メニュー」を選びます。その中の「印刷」を選びます。
ホームページ表示エリアに表示されているデータを印刷することができます。

**●メール**
「メールの受信と表示」画面、「メールの作成と送信」画面の上段メニューの「メニュー」を選びます。その中の「印刷」を選びます。
データエリアに表示されているデータを印刷することができます。

**●デジタルカメラ**
「デジタルカメラの操作」画面の上段メニューの「メニュー」を選びます。その中の「印刷」を選びます。
表示されている画像を印刷します。
また、画像一覧が表示されている画面の場合には、カーソルが から に変わりますので印刷したい画像を選びます。

1.プリンタの「選択」(a)を選ぶと機種一覧が表示されますので、「前へ」(h)や「次へ」(i)を使って接続するプリンタを表示させ、選びます。
選ぶと「プリンタの設定」ウインドウに戻ります。

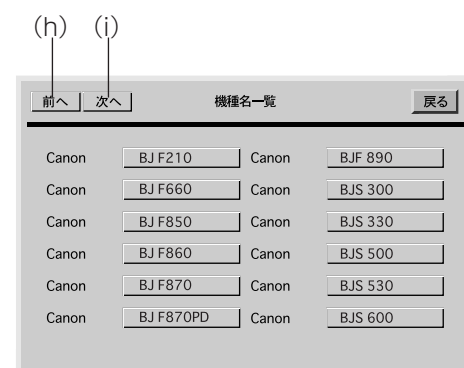
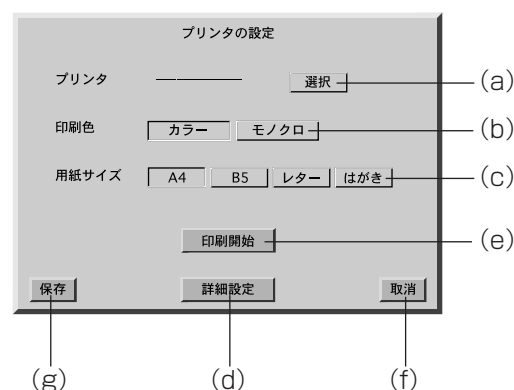
**メ　モ**

使用するプリンタを一度設定したら、次回の印刷時からは1の操作をする必要はありません。

2.印刷色(b)を「カラー」「モノクロ」から選びます。

3.用紙サイズ(c)を「A4」「B5」「レター」「はがき」から選びます。

4.さらに細かい設定を行う場合は「詳細設定」(d)を選びます。
「さらに細かい設定をするには」68

5.「印刷開始」(e)を選びます。印刷が開始されます。
「取消」(f)を選ぶと設定内容を無効となり、「プリンタの設定」ウインドウが消えます。
「保存」(g)を選ぶと設定した内容が保存されます。

6.印刷が開始されると、右のウインドウが表示されます。
　印刷が終了するとウインドウは消えます。
　中断したい場合は、「中断」を選びます。

プリント中です。しばらくお待ち下さい

（中断するときは、中断ボタンを押して下さい）

中断

# さらに細かい設定をするには

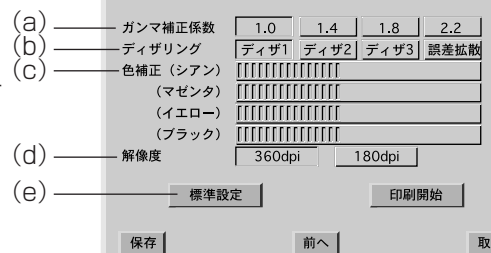
「プリンタの設定」ウインドウで、「詳細設定」を選ぶと、プリンタの細かい設定を行なうことができます。必要に応じて設定を行なってください。

**ガンマ補正係数(a)**
　印刷結果の色合いが、係数が大きくなるほど暗くなります。(1.0:ガンマ補正なし)「1.0」「1.4」「1.8」「2.2」から選びます。

**ディザリング(b)**
　文字やイラストはディザ1-3、写真イメージなど自然画は誤差拡散が向いています。ただし、誤差拡散はもっとも印刷に時間がかかります。
「ディザ1」「ディザ2」「ディザ3」「誤差拡散」から選びます。

**色補正(c)**
　以下の4色の濃度を設定します。
　シアン(青+緑)、マゼンタ(赤+青)、イエロー (赤+緑)、ブラック
　設定するにはカーソルをバーの上で移動させ、リモコンの確定ボタンまたは方向キーを押します。

**解像度(d)**
　プリンタの解像度を選びます。
　設定したプリンタによって表示される解像度は異なります。

**標準設定(e)**
　変更した設定を全て初期化します。

**お知らせ**

●大きい画像などは、高解像度で印刷できなくても、低解像度で印刷できることがあります。ただし、画質は劣化します。
●「ガンマ補正係数」「ディザリング」「色補正」「解像度」に関しては、プリンタの取扱説明書を参照してください。

# ● 5.2 画像入力 ～デジタルカメラ ●

**デジタルカメラで撮影したデータを読み込んで、編集したりメールに貼り付けたりすることができます。(対応機器：74)**

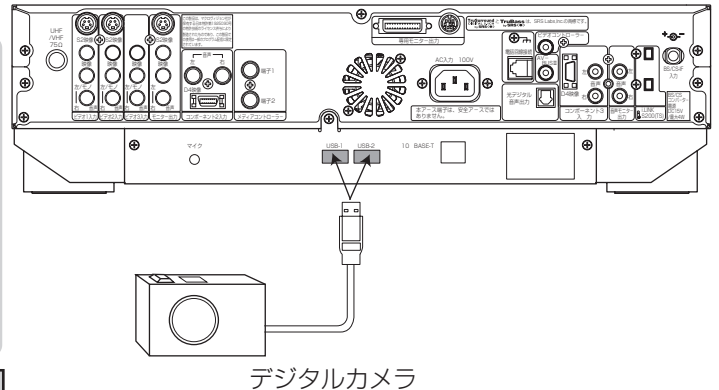
## 5.2.1　デジタルカメラの接続

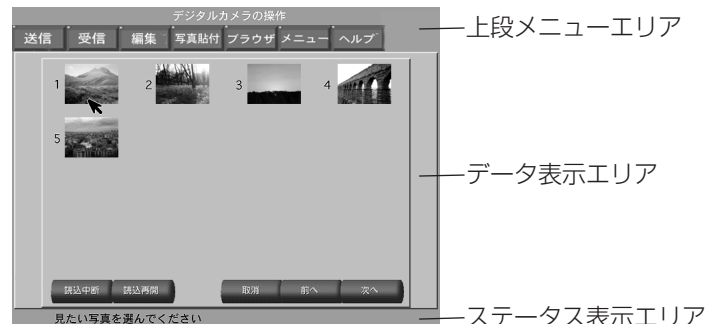
デジタルカメラは、本体背面のUSB-1またはUSB-2ポートに接続したデジタルカメラに対応したUSBケーブルを用いて接続します。

**お知らせ**

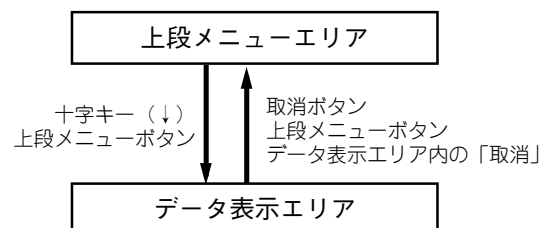
デジタルカメラおよびUSBケーブルを接続する前に、AVCステーションの電源をオフにしてください。このとき、機能待機ランプが点灯している場合は、再度電源をオンにしてからAVCステーション本体の電源ボタンを5秒以上押して電源を切った状態で、デジタルカメラおよびUSBケーブルを接続してください。デジタルカメラの電源を入れて、その後にAVCステーション本体の電源ボタンを押して電源を入れてください。

**⚠ 注意**

AVCステーション本体の電源ボタンを5秒以上押して電源を切る場合、お客様の設定された予約状況等に影響がないことをご確認の上操作をしてください。

## 5.2.2　デジタルカメラを操作するには

デジタルカメラの操作は、「メールの受信と表示」画面または「メールの作成と送信」画面の上段メニューの「メニュー」の中にある「カメラ」を選んで表示される 「デジタルカメラの操作」画面で行います。

「デジタルカメラの操作」画面では、通常カーソルはジャンプ移動します。
「画面上のカーソル（ ）を移動させるには」16

ジャンプ移動の場合の上段メニューエリアとデータ表示エリア間のカーソル移動は、リモコンの方向キー・取消ボタン・上段メニューボタン等で行ないます

第5章

# 5.2.3　デジタルカメラの中の画像を表示するには

（c）（d）　　（b）（a）

（e）

1.「デジタルカメラの操作」画面が表示されると自動的に、デジタルカメラから画像データをロードして、画像データ一覧(サムネイル画像)を表示します。

画像データが複数ページになる場合は、「次へ」(a)を選ぶと次のページが表示されます。また、「前へ」(b)を選ぶと前のページに戻ります。

画像データの読み込みを中断をしたい場合は、「読込中断」（c）を選びます。「読込再開」（d）で読み込みを再開します。

2.表示されている画像一覧の中から画像を選ぶとその画像本来の大きさで表されます。
「写真一覧」(e)を選ぶと、画像データ一覧に戻ります。

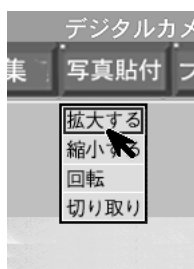
**お知らせ**

●「デジタルカメラの操作」画面を表示させる時には、デジタルカメラの電源が既に入っていなければなりません。

●FUJI FILM FinePixの場合には接続時、カメラをPC-MODEにしてください。

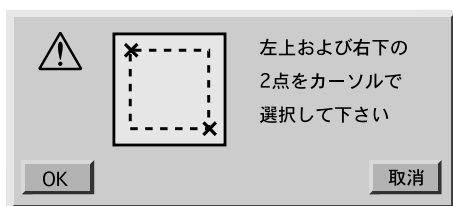
# 5.2.4　画像を編集するには

デジタルカメラから読み込んだ画像を、拡大/縮小、回転等の編集を行なうことができます。

編集したい画像を画像データ一覧から選び、表示された状態で、上段メニューの「編集」を選ぶと、編集メニューが表示されます。
編集メニューから項目を選ぶと対応したウインドウが画面中央に表示されます。

**「拡大する」**
2倍、3倍に拡大することができます。

**「縮小する」**
2分の1、3分の1に縮小することができます。

**「回転」**
右方向に90度、左方向に90度、左右反転、上下反転することができます。

**「切り取り」**
画像の一部分を矩形で切り取ることができます。

1.編集メニューの中の「切り取り」を選ぶと確認のウインドウが表示されますので「OK」を選びます。

2.切り取りたいエリアの左上にカーソルを移動させせリモコンの確定ボタンまたは方向キーを押し、さらに切り取りたいエリアの右下にカーソルを移動させ、リモコンの確定ボタンまたは方向キーを押します。

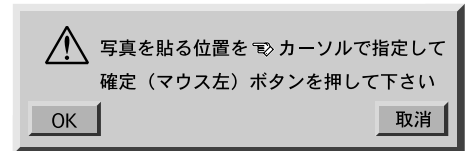
3.指定したエリア内の画像データのみ表示されます。

# 5.2.5　電子メールに画像を貼り付けるには

1.メールに貼り付けたい画像を、画像データ一覧から選び、表示させせます。

2.上段メニューの「写真貼付」を選びます。

3.位置指定のウインドウが表示されますので、メールに貼る時の水平方向の位置を選びます。

4.確認のウインドウが表示されますので、「OK」を選び、挿入したいデータエリアの位置までカーソルを動かし、リモコンの確定ボタンまたは方向キーを押します。
画像がメールのデータ表示エリアに表示されます。

# 5.2.6　デジタルカメラの操作を終わるには

## 「メールの作成と送信」画面を表示するには

上段メニューの「作成」を選びます。

## 「メールの受信と表示」画面を表示するには

上段メニューの「受信」を選びます。

## 「ブラウザ」画面を表示するには

上段メニューの「ブラウザ」を選びます。
「5.2.7　便利な機能」71

# 5.2.7　便利な機能

## オプション機能

デジタルカメラの画像を消去することができます。また、プリンタを接続することにより、デジタルカメラから入力した画像を印刷することができます。これらは上段メニューの「メニュー」(a) を選んで表示されるメニューの中から利用できます。

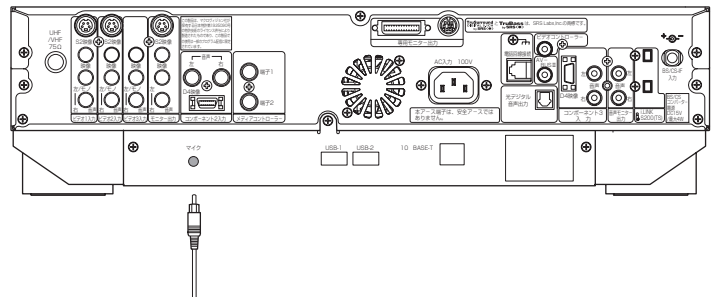
● 「消去」(b)を選ぶと選択した一枚あるいは全部を消去することができます。
● 「印刷」(c)を選ぶと画像を印刷することができます。
「5.1　印刷　～プリンタ」67

第5章

# ● 5.3 音声入力 ～マイク ●

マイク(市販品)を接続して音声の入力や入力した声を保存したりメールに張り付けて送信したりできます。

## 5.3.1　マイクの接続

マイクは、本体背面のマイク端子に接続します。

コンデンサマイク(ミニプラグ)

## 5.3.2　マイクを使うには

マイクの操作は、「音声の入出力」ウインドウから行ないます。

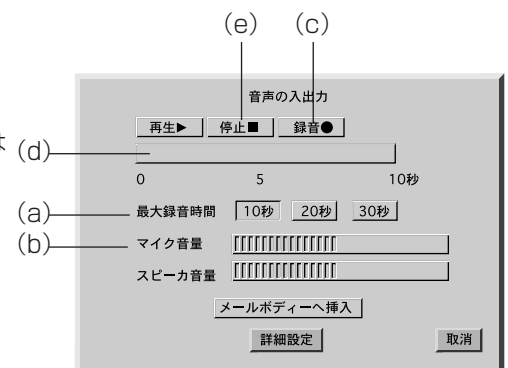
「メールの作成と送信」画面の上段メニューの「メニュー」を選んで表示されるメニューの中の「音声の添付」を選ぶと、「音声の入出力」ウインドウが表示されます。

### 音声を録音するには

1.最大録音時間(a)を設定します。
「10秒」「20秒」「30秒」から選びます。

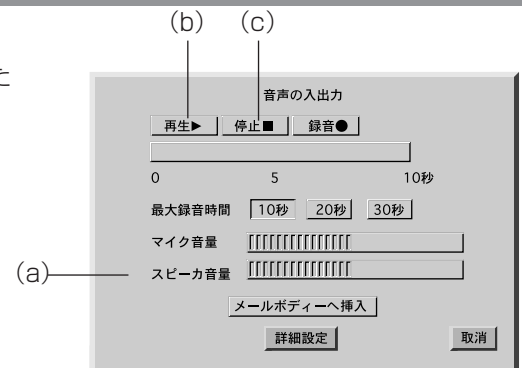
2.マイクの音量(b)を設定します。
マイクの音量のバーの上にカーソルを移動させてリモコンの確定ボタンまたは方向キーを押します。
必要であれば「詳細設定」を選んでデータ形式などを変更します。
「データ形式を変更するには」73

3.「録音」(c)を選びます。
接続してあるマイクから録音が始まります。
録音経過時間は、録音の下のバー(d)で表示されます
最大録音時間になると自動的に録音が終了します。

最大録音時間前に終了したい場合は、「停止」(e) を選びます。

# 録音した音声を再生するには

1.スピーカの音量(a)を設定します。
　スピーカの音量のバーの上にカーソルを移動させてリモコンの確定ボタンまたは方向キーを押します。

2.「再生」(b)を選びます。
　音声が再生されます。

　再生途中で終了したい場合は、「停止」(c) を選びます。

**お知らせ**

録音したデータの再生は、録音後続けて行なってください。一度「音声の入出力」ウインドウを消すと、録音したデータは消えてしまいます。

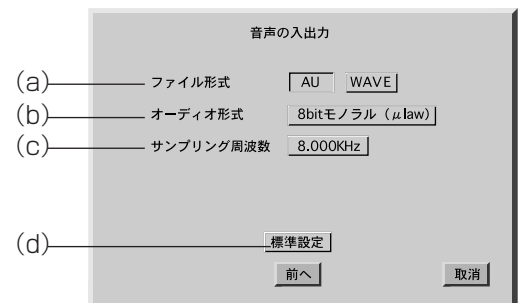
# データ形式を変更するには

**音声の入出力ウインドウの「詳細設定」を選んで表示されるウインドウにより音声データの録音形式を変更することができます。**

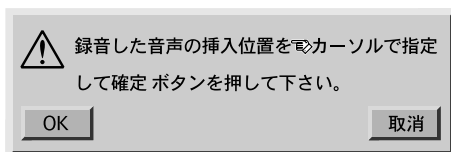
**ファイル形式 (a)**
　「AU」「WAVE」から選びます。

**オーディオ形式 (b)**
　選ぶごとにオーディオ形式が以下のように切り換わります。
　8bitモノラル(μlaw)　→8bitステレオ(μlaw)　→16bitモノラル(PCM)
　→16bitステレオ(PCM)　→8bitモノラル(a law)　→8bitステレオ(a law)
　→8bitモノラル(PCM)　→8bitステレオ(PCM)

**サンプリング周波数 (c)**
　選ぶごとにサンプリング周波数が以下のように切り換わります。
　8.000KHz → 11.025KHz → 22.050KHz → 5.513KHz

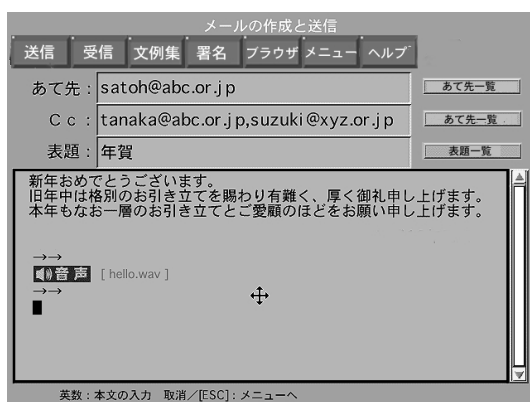
**「標準設定」(d)**
　設定を初期化します。

**お知らせ**

オーディオ形式でのモノラルとステレオの切換は将来の機能拡張用であり、どちらを選んでもモノラルで録音されます。

# 5.3.3　録音した音声をメールに挿入するには

1.「音声の入出力」ウインドウで録音した後「メールボディーへ挿入」を選びます。

2.確認ウインドウが表示されますので、「OK」を選びます。

3.「メールの作成と送信」画面のデータエリアの挿入したい位置までカーソルを移動させてリモコンの確定ボタンまたは方向キーを押します。

4. 挿入されると、音声 が表示されます。

**お知らせ**

録音したデータのメールへの挿入は、録音後続けて行なってください。一度「音声の入出力」ウインドウを消すと、録音したデータは消えてしまいます。

# ● 5.4 USB対応機器 ●

本機のUSB接続に対応したプリンタとデジタルカメラの一覧を示します。

## 5.4.1　対応プリンター覧表 (2002年10月現在)

| キャノン製 | BJ F210 | セイコーエプソン製 | PM-720 C |
|---|---|---|---|
| | BJ F660 | | PM-780 CS |
| | BJ F850 | | PM-880 C |
| | BJ F860 | | PM-2200 C |
| | BJ F870 | | |
| | BJ F870 PD | | |
| | BJ F890 | | |
| | BJ S300 | | |
| | BJ S330 | | |
| | BJ S500 | | |
| | BJ S530 | | |
| | BJ S600 | | |
| | BJ S630 | | |
| | BJ S660 | | |
| | BJ M40 | | |
| | BJ M70PW | | |

## 5.4.2　対応デジタルカメラ一覧表(2002年10月現在)

| 富士写真フイルム製 | Fine Pix 2600z |
|---|---|
| | Fine Pix 4500 |
| | Fine Pix 4800z |
| | Fine Pix 30i |
| | Fine Pix 40i |
| | Fine Pix 50i |
| | Fine Pix A201 |
| | Fine Pix A202 |
| | Fine Pix A303 |

**お知らせ**

指定機器以外を接続した場合は誤作動や故障の原因となりますので接続は行わないでください。

# ● 故障かな？と思ったら 

⚠ **注意**
AVCステーション本体の電源ボタンを5秒以上押して電源を切る場合、お客様の設定された予約状況等に影響がないことをご確認の上操作をしてください。

## インターネット画面が表示されない

リモコンのインターネットボタンでインターネット画面を選択したときに「インターネット」の表示が画面右上に出てますか？また、AVCステーションの電源をオフにしてから再度電源をオンにしてください。このとき、機能待機ランプが点灯している場合は、AVCステーション本体の電源ボタンを5秒以上押して、機能待機ランプ消灯後、再度電源ボタンを押してインターネット画面を選択したときに「インターネット」の表示が画面右上にでますか？

**いいえ**　→　本機の故障の可能性があります。お買上げの販売店または最寄りの「ご相談窓口」にお問い合わせください。
**はい**　→　次の項目をご覧ください。

## ホームページ表示エリアに表示されない、または接続できない

1.ツイストペアケーブルが本体背面の適切なポートにしっかりと接続されていますか？
**いいえ**　→　ケーブルの両端をしっかりと差し込んでください。
**はい**　→　次のチェック項目2をご覧ください。

2.画面下部にメッセージが表示される。
**いいえ**　→　次のチェック項目3をご覧ください。
**はい**　→　以下のメッセージに対応した処置をとってください。

**"回線が接続できませんでした。システム設定確認後、再度同じ操作をしてください。"**
Ethernet接続の場合は「LANの設定」の各項目を確認してください。
「3.3.1　LANの設定」25

**"ネームサーバに接続できませんでした。"**
「ネットワークサービスの設定」のドメインネームサービスのサーバIPアドレスとドメイン名を確認してください。
「3.3.2、3.4.2　ネットワークサービスの設定」25　29
それでもつながらない場合はネームサーバが動作していないか動作していても非常に負荷がかかっていて、応答を返せない状態の可能性があります。数時間たってもつながらない場合はインターネット接続業者にお問い合わせください。

**"WWWサーバに接続できませんでした。"または"WWWサーバが見つかりませんでした。"**
指定したURL（ホームページアドレス）が正しいか確認してください。それでもつながらない場合はアクセス先のコンピュータが動作していないか動作していても非常に負荷がかかっていて、応答を返せない状態の可能性があります。時間をおいて（数時間から1日）再度アクセスしてください。
Proxyサーバを必要とする場合は、「Proxyサーバの設定」のHTTPサーバのサーバ名、ポート番号の内容と「使用する」が選ばれていることを確認してください。
「3.3.5　Proxyサーバの設定」27

**"メールサーバが見つかりませんでした。"または"メールサーバに接続できませんでした。"**
「メールの設定」のメールサーバの設定を確認してください。
「3.3.3、3.4.3　メールの設定」26　30
それでもつながらない場合はメールサーバが動作していないか動作していても非常に負荷がかかっていて、応答を返せない状態の可能性がありますので、時間をおいて（数時間から1日）再度アクセスしてください。

3.ブラウザの設定のホームページが「なし」に設定されている。
**いいえ**　→　本機の故障の可能性があります。お買上げの販売店または最寄りの「ご相談窓口」にお問い合わせください。
**はい**　→　ホームページを表示する場合は、「ブラウザの設定」のホームページの項目を「インターネット」に設定してください。
「3.3.6　3.4.6　ブラウザの設定」27　32

# メールを受信しても表示されない

1.ツイストペアケーブルが本体背面の適切なポートにしっかりと接続されていますか？
**いいえ** → ケーブルの両端をしっかりと差し込んでください。
**はい** → 次の項目2をご覧ください。

2.メールの受信を行って、画面下部にメッセージが表示される。
**いいえ** → 上段メニューの「受信」を選択してもメッセージが表示されない場合は、本機の故障の可能性があります。お買上げの販売店または最寄りの「ご相談窓口」にお問い合わせください。
「4.2.1　受け取ったメールを見るには」54
**はい** → 以下のメッセージに対応した処置をとってください。

**"使用者をシステム設定でセットしてください。""メールサーバが見つかりませんでした。"または"メールサーバに接続できませんでした"**
「メールの設定」のメールサーバの設定を確認してください。
「3.3.3、3.4.3　メールの設定」26 30
それでもつながらない場合はメールサーバが動作していないか動作していても非常に負荷がかかっていて、応答を返せない状態の可能性がありますので、時間をおいて（数時間から1日）再度アクセスしてください。

# 音がでない

1.「音声の設定」の音量が中〜大になっていますか？また、Real PlayerおよびJCC Audio Playerの音量が中〜大になっていますか？ 「3.3.8、3.4.8　音声の設定」28 33 「4.1.2　リンク先のデータについて」41
**いいえ** → 音量を大きく設定してください。
**はい** → 次のチェック項目2をご覧ください。

2.データはAU 、WAVE、AIFFのいずれかですか？
**いいえ** → 本機は上記以外のフォーマットには対応していません。
**はい** → 本機の故障の可能性があります。お買上げの販売店または最寄りの「ご相談窓口」にお問い合わせください。

# 方向キー以外のリモコンのボタンが無効になる

1.データの読み込中など処理中ですか？
**いいえ** → 次のチェック項目2をご覧ください。
**はい** → しばらくお待ちください。

2.AVCステーションの電源をオフにしてから再度電源ボタンを押してください。このとき、機能待機ランプが点灯している場合は、AVCステーション本体の電源ボタンを5秒以上押して、機能待機ランプ消灯後、再度電源ボタンを押してください。インターネット画面を表示させて動きますか？
**いいえ** → 本機の故障の可能性があります。お買上げの販売店または最寄りの「ご相談窓口」にお問い合わせください。

# カーソルが動かない

1.リモコンとモニターのリモコン受信窓の間は障害物がなく5m以内ですか？また、角度は本体正面から上下左右30°以内ですか？
**いいえ** → 正しい位置から操作してください。
**はい** → 次のチェック項目2をご覧ください。

2.画面が文字入力モードになっていますか？
**いいえ** → 次のチェック項目3をご覧ください。
**はい** → リモコンの取消ボタンを押して文字入力モードを終了してください。

3.リモコンのボタンをどれか押してみて、動くようになりますか？
**いいえ** → 次のチェック項目4をご覧ください。
**はい** → リモコンが省エネモードになっていたためです。故障ではありません。

4.AVCステーションの電源をオフにしてから再度電源ボタンを押してください。このとき、機能待機ランプが点灯している場合は、AVCステーション本体の電源ボタンを5秒以上押して、機能待機ランプ消灯後、再度電源ボタンを押してください。インターネット画面を表示させて動きますか？
**いいえ** → 次のチェック項目5をご覧ください。

5.リモコンの乾電池を新しいものと交換して動きますか？
**いいえ** → 本機の故障の可能性があります。お買上げの販売店または最寄りの「ご相談窓口」にお問い合わせください。

## リモコンの反応が時々鈍くなる

リモコンが省エネモードになっていたためです。故障ではありません。

## リモコンで操作を行っても更新等の動作が行われない、または表示画面がフリーズ状態となっている

1.データの処理中など処理を行っている場合があります。しばらく待って再度操作をしてください。改善されない場合は、以下の項目をご覧ください。

2.AVCステーションの電源をオフにしてから再度電源ボタンを押してください。このとき、機能待機ランプが点灯している場合は、AVCステーション本体の電源ボタンを5秒以上押して、機能待機ランプ消灯後、再度電源ボタンを押してください。インターネット画面を表示させて動きますか？

**いいえ** → 本システムではサポートされていない機能を有したサイトの可能性があります。詳しくはお買上げの販売店または最寄りの「ご相談窓口」にお問い合わせください。

## USB接続機器が正常に動作しない

1.AVCステーションに接続されたUSB機器の電源が入っていますか？また、USBケーブルが本体背面の適切なポートにしっかりと接続されるとともに、接続されたUSB機器側の適切なポートにしっかりと接続されていますか？

**いいえ** → 接続されたUSB機器の電源を入れてください。また、USBケーブルをしっかりと接続してください。その後、AVCステーション本体の電源ボタンを5秒以上押して、機能待機ランプ消灯後、再度電源ボタンを押してください。その後にUSB接続機器をご使用ください。

**はい** → 次の項目2をご覧ください。

2.AVCステーション側のプリンタの設定あるいはデジタルカメラの設定はあっていますか？また、接続されているプリンタあるいはデジタルカメラの設定はあっていますか？

**いいえ** → 設定を行ってUSB接続機器をご使用ください。
「5.1　印刷～プリンタ」67 「5.2　画像入力～デジタルカメラ」69

**はい** → 次の項目3をご覧ください。

3.AVCステーションの電源をオフにしてから再度電源ボタンを押してください。このとき、機能待機ランプが点灯している場合は、AVCステーション本体の電源ボタンを5秒以上押して、機能待機ランプ消灯後、再度電源ボタンを押してください。その後に、USB接続機器は正常に動作しますか？

**いいえ** → 本機あるいはUSB接続機器の故障の可能性があります。本機に関しては、お買上げの販売店または最寄りの「ご相談窓口」にお問い合わせください。USB接続機器に関しては、USB接続機器の取扱説明書に記載の対応窓口へお問い合わせください。

# ● メッセージ表示一覧 ●

本機ではインターネット画面のとき、状況に応じて「メッセージ」が表示されます。主なメッセージと内容は下記の通りです。

| メッセージ | 内容または対処のしかた |
|---|---|
| 回線接続できませんでした。システム設定後、再度同じ操作をしてください。 | システム設定を確認してください。「第3章　システム設定」22～38または「故障かな？と思ったら」75をご覧ください。 |
| ネームサーバに接続できませんでした。 | システム設定を確認してください。「第3章　システム設定」22～38または「故障かな？と思ったら」75をご覧ください。 |
| WWWサーバに接続できませんでした。 | 指定URLを確認してください。また、システム設定を確認してください。「第3章　システム設定」22～38または「故障かな？と思ったら」75をご覧ください。 |
| WWWサーバが見つかりませんでした。 | 指定URLを確認してください。また、システム設定を確認してください。「第3章　システム設定」22～38または「故障かな？と思ったら」75をご覧ください。 |
| メールサーバに接続できませんでした。 | メールの設定を確認してください。「第3章　システム設定」22～38または「故障かな？と思ったら」75をご覧ください。 |
| メールサーバが見つかりませんでした。 | メールの設定を確認してください。「第3章　システム設定」22～38または「故障かな？と思ったら」75をご覧ください。 |
| スクリプト実行中にエラーが発生しました。 | 本機ではJava Scriptが一部未対応です。画面の一部あるいは全部が正常に表示されません。他のページをご覧ください。 |
| スクリプト解析中にエラーが発生しました。 | 本機ではJava Scriptが一部未対応です。画面の一部あるいは全部が正常に表示されません。他のページをご覧ください。 |
| ［………］はサポートされていません。 | 本機で対応していないフォーマット(例えばapplication/mac-binhex40)のファイルをロードしようとしています。他のページをご覧ください。 |
| 新しいページを開こうとしています。続けますか？ | 本機では複数のウインドウを同時に表示できません。メッセージにしたがって選択してください。 |
| これ以上ブックマークを追加することはできません。 | ブックマークの登録が一杯です。「4.1.3　ブックマークを編集するには」44をご覧ください。 |
| ページアドレスが入力されていません。 | ページアドレスを入力してください。「4.1.3　ブックマークを編集するには」44をご覧ください。 |
| ブックマークの残り容量が足りません。 | ブックマークの登録が一杯です。「4.1.3　ブックマークを編集するには」44をご覧ください。 |
| 不正なページアドレスです。 | ページアドレスの確認をお願いします。「4.1.3　ブックマークを編集するには」44をご覧ください。 |
| ページアドレスが長すぎます。 | ページアドレスの確認をお願いします。「4.1.3　ブックマークを編集するには」44をご覧ください。 |
| 印刷に失敗しました。 | プリンタとの接続、設定等の確認をお願いします。「5.1　印刷～プリンタ」67をご覧ください。 |
| プリンタが接続されていないか印刷できる状態にありません。 | プリンタとの接続、設定等の確認をお願いします。「5.1　印刷～プリンタ」67をご覧ください。 |
| メモリ容量不足のため、アプリケーションが終了しました。同じ動作をさせるためには、メモリの増設が必要です。 | メモリエラーです。再起動をお願いします。本機ではメモリの増設は対応していません。 |
| アプリケーションが対応していない機能かメモリ容量不足のため、正常な処理を行えなかったため実行を中止しました。 | アプリケーションエラーです。再起動をお願いします。 |

| メッセージ | 内容または対処のしかた |
|---|---|
| **電子メール関連** | |
| カメラに書き込みができません。カメラ本体を使用して消去してください。 | カメラ本体で消去をお願いします。「5.2　画像入力～デジタルカメラ」69 をご覧ください。 |
| MIDIファイルはサポートしていません。 | 本機ではMIDIファイルはサポートしていません。 |
| このファイルタイプはサポートしていません。 | 本機ではサポートされていないファイルです。 |
| メールを送信できませんでした。 | 回線接続あるいは設定の不具合の可能性があります。「第3章　システム設定」22 ～ 38 または「故障かな？と思ったら」75 をご覧ください。 |
| プリンタが接続されていないか電源が入っていません。 | プリンタとの接続、設定等の確認をお願いします。「5.1　印刷～プリンタ」67 をご覧ください。 |
| **音声eメール関連** | |
| あて先一覧に登録データがありません。直接メールアドレスを入力してください。 | 直接メールアドレスを入力してください。「4.3　電子メール～メールを送る」58 をご覧ください。 |
| 音声を録音してください。 | 音声が録音されていません。「5.3　音声入力～マイク」72 をご覧になり、音声を録音してください。 |
| あて先を登録してください。 | あて先を登録してください。「4.3　電子メール～メールを送る」58 をご覧ください。 |
| メールが送信できませんでした。設定を確認してください。 | 回線あるいは設定の不具合の可能性があります。「第3章　システム設定」22 ～ 38 または「故障かな？と思ったら」75 をご覧ください。 |

# ● 用語解説 ●

## 数字、A～I

**10Base-T**
ツイストペアケーブルを使ったEthernetの接続方式で、ハブと呼ばれる集線装置で接続します。 ケーブルの敷設も容易なため，現在のEthernetの主流となっています。

**AT互換機**
IBM社のPC/ATシリーズの互換機のことで、「IBM PC互換機」「IBM PC/AT互換機」とも呼ばれます。
パーソナルコンピュータとしては、事実上の世界標準になっています。
日本では「DOS/V機」とも呼ばれますが、これは特に日本語に対応したものをさします。

**AU**
UNIXで標準的に使用される、音声データのフォーマット。
拡張子に「.au」が付けられるためこう呼ばれる。

**CPU (Central Processing Unit)**
コンピュータの頭脳部にあたり、命令を解釈して実行したり、データの処理を行う中央演算処理装置のことです。

**DHCP(Dynamic Host Configuration Protocol)**
IPアドレスなどの情報を自動設定するプロトコルです。

**DNS（Domain Name System, Domain Name Service）**
IPアドレスとドメイン・ネームを対応させたデータベース。
または、その変換サービス。
このシステムによって、数字の羅列であるIPアドレスを意識することなく、ネットワークにアクセスすることができます。

**Ethernet**
Xerox社が開発し、 Xerox社・ DEC社·Intel社の3社で規格が策定されたLANの伝送方式の一つです。
小規模LANで最も使用される方式。

**GIF（Graphics Interchange Format）**
汎用画像データフォーマットの１種です。
もともと、商用ネットであるCompuServeにおけるデータ交換用として決められたものです。

**HTML（HyperText Markup Language）**
インターネット上のページを記述するための言語です。

**HTTP(Hyper Text Transfer Protocol)**
WWWサーバの処理を定めたインターネットプロトコル(通信手順)で、ホームページなどのデータを転送するときに使用します。

**Internet Explorer**
インターネット上でリリースアップごとに無償配布されているMicrosoft社のWWWブラウザソフトです。

**IPアドレス（Internet Protocolアドレス）**
インターネット上のコンピュータを識別する一意なアドレスで、小数点区切りの数値で記述します。

## I～R

### Java
Sun Microsystems社が開発した、ネットワーク利用を前提としたプログラミング言語の一種です。
アプレットと呼ばれるJavaで作成されたプログラムは、Javaに対応したブラウザで実行することができます。

### JavaScript
Netscape社の「Live Script」を基に、同社とSunMicrosystems社が共同で開発した言語で、プログラムをHTML文書内に記述することによって、対応ブラウザで実行するができます。

### JPEG（Joint Photographic Experts Group）
画像圧縮アルゴリズムを制定する目的で設立された国際機関。
静止画データの圧縮アルゴリズムを開発したため、単に「JPEG」というとこのアルゴリズムをさします。
GIFと同様にブラウザで表示できる画像フォーマットの一つです。

### LAN（Local Area Network）
同一建物内などのコンピュータ・ネットワーク。「構内ネットワーク」とも言う。
これに対し、遠距離のLANどうしを結ぶネットワークをWAN（Wide Area Network）と呼びます。

### Macintosh
Apple社が製造·販売するパーソナル·コンピュータのシリーズ。

### MPEG（Moving Picture Experts Group）
カラー動画像の符号化方式の標準化を検討する組織。またはここで制定されたデジタル動画を圧縮する技術をさします。

### MS-DOS(Microsoft Disc Operating System)
Microsoft社が開発したパソコンのOS(オペレーティング・システム)です。ほとんどのメーカーのパソコン用OSとして採用されています。

### NetscapeNavigator
Netscape社が、開発·販売しているブラウザソフト。

### NTSC (National Television System Committee)
米国でテレビ放送の標準方式を定める委員会のこと。またはNTSCで定められた､信号色と輝度信号(明るさ)によって、カラー映像を表示させる方式をさします。日本で採用されているカラーテレビ放送もこの方式です。

### POP(Post office Protocol)
電子メールプログラムがメールサーバからメールを受け取るときに使用するプロトコルです。

### Proxyサーバ
代理のサーバのことをいいます。一度読み込んだデータを一定期間保持しますので、一度読み込んだデータの要求であればProxyサーバとの通信となります。

### RAM (Random Access Memory)
CPUが直接コントロールして順序に関係なく、どの場所でも直接データを高速に読み書きできる記憶装置で、一般にメモリと呼ばれます。

## R～Z

### RSA（Rivest-Shamir-Adleman）
マサチューセッツ工科大学のRivest、Shamir、Adlemanらによって開発された暗号化方式の一種です。

### SMTP(Simple Mail Transfer Protocol)
メール転送プロトコル（通信手順)です。

### SSL（Secure Sockets Layer）
Netscape社が開発した、「http」にセキュリティ機能を付加するための技術で、データの暗号化と解読を通して、安全なデータ通信を提供するプロトコル（通信手順）です。

### TCP/IP
### (Transmission Control Protocol/InternetProtocol)
インターネットの標準プロトコル（通信手段）です。

### URL(Uniform Resource Locator)
ホームページなどの情報の場所を表わす記述法です。http://www.hitachi.co.jp/のように表します。

### WAVE
AT互換機などで使用される、音声データのファイル形式のこと。

### WWW (World Wide Web)
インターネット上でいろいろな情報(画像、音声、文字)を得ることを可能にしているシステムです。Webとも呼ばれ、これを提供しているサーバをWWWサーバやWebサーバといいます。

## ア〜フ

**アイコン**
コンピューターの画面上に表示される絵記号のこと。

**アクセスポイント**
プロバイダが提供する、インターネットにダイアルアップIPでアクセスするための窓口。

**インターネット**
ネットワークどうし、およびコンピュータどうしを結び付ける世界最大のコンピュータネットワークです。ネットワークのネットワークといわれ、多くのネットワークが１つのネットワークとして運用されています。

**オンライン･ショッピング**
商品選びや支払い手続きをインターネット上で行う通信販売。

**カーソル**
画面上で座標位置を表わしたり（）、文字入力する位置を表わしたり（■）する印です。

**漢字コード**
漢字1字ごとに割り当てられた番号のセット。
AT&T社がUNIXで使用するために制定したEUC(Extended UNIX Code)、Microsoft社、アスキー社が中心となって開発したS-JIS(Shift Japanese Industrial Standard)、JIS(日本工業規格)で制定されたJIS（Japanese Industrial Standard）などがあります。

**キャッシュ**
過去に使用されたデータを再利用するために一時的保存する場所。
キャッシュのデータを利用することによりシステムの高速化に効果があります。

**スクロール**
表示が１画面におさまらない場合、画面上で見る範囲を少しづつ上下左右にずらすことです。

**電子メール**
Eメールとも呼ばれ、ネットワークを利用して送受信する電子化された手紙です。

**ドメイン**
インターネットの用語としては、インターネットに接続している組織、団体等の名前。URLやメールアドレスにも利用されます。

**ネットサーフィン**
インターネット上のホームページから別のホームページへアクセスして情報を見ていくことをいいます。

**ネットマスク**
IPアドレスにはネットワークによって決められた部分と自由に使える部分があり、それらを表わしたもの。

**ネットワーク**
コンピュータどうしを接続する通信システムです。

**パスワード**
正式な利用者であることを確認するための文字列です。

**ブラウザ**
インターネットでホームページを閲覧するソフトウエアです。ブラウザを使ってインターネット上の情報を得ることをブラウジングといいます。

## フ〜ロ

**プラグイン**
ブラウザに組み込むことで，ブラウザが処理できないデータを処理したりする拡張モジュール。
現在では、Netscape Navigator用、Internet Explorer用などを中心に、ブラウザでさまざまな新機能を実現するプラグインモジュールが開発されている。

**プロトコル**
データの通信を行うための通信手順 、規約のことです。

**プロバイダ**
インターネットへの接続サービスを提供している団体の総称です。

**ホームページ（ページ）**
WWWサーバにアクセスして得られる情報で、文字やイメージがレイアウトされた状態のものをいいます。HTMLで記述されています。

**メールサーバ**
電子メールの送受信を一括管理しているコンピュータです。

**メールボックス**
ネットワーク上の個人毎に決められた郵便ポストを指します。

**モデム**
コンピュータが電話回線を使用してデータのやりとりを行うための装置。

**ユーザーＩＤ(ログイン名、ユーザーアドレス)**
ユーザーを認識するための文字列です。

**ルータ**
ネットワーク間で効率良くデータをやりとりできるように回線経路を制御する中継装置です。 コンピュータによって異なる通信プロトコルを変換をするなどの機能も持ち、LAN同士の接続には不可欠な装置です。

**ログイン**
ユーザーがコンピュータに対して、利用を開始することをログインといいます。
ユーザーIDとパスワードを入力する手続きが必要です。
逆に利用を終了することをログアウトといいます。

# ● 設定メモ ●

## ●イーサネット接続の設定

| LANの設定 | | |
|---|---|---|
| 本体 IPアドレス | | |
| ネットマスク | | |
| ルータ IPアドレス | | |
| ネットワークサービスの設定 | | |
| DNSサーバIPアドレス | 1 | |
| | 2 | |
| ドメインネーム | | |
| メールの設定 | | |
| POPサーバ(受信用) | | |
| SMTPサーバ(送信用) | | |
| メールボックス名 | 1 | |
| | 2 | |
| | 3 | |

## ●ADSL接続の設定

| ADSLの設定 | | |
|---|---|---|
| ユーザ名 | | |
| パスワード | | |
| プロトコル | | |
| ネットワークサービスの設定 | | |
| DNSサーバIPアドレス | 1 | |
| | 2 | |
| ドメインネーム | | |
| メールの設定 | | |
| POPサーバ(受信用) | | |
| SMTPサーバ(送信用) | | |
| メールボックス名 | 1 | |
| | 2 | |
| | 3 | |

## ●システム設定パスワード

| |
|---|

## ●ユーザ設定

| | ユーザ名 | パスワード |
|---|---|---|
| 1 | | |
| 2 | | |
| 3 | | |